

令和7年度 第2回学校評価委員会・学校関係者評価部会

次 第

- (1) あいさつ
- (2) 令和7年度学校評価アンケートについて
- (3) 令和7年度学校評価中間報告について
- (4) 令和7年度学校評価最終報告について
- (5) 学校関係者評価委員からの質問・意見

八戸工業大学第二高等学校・附属中学校 令和8年3月12日

(1) 令和7年度学校評価アンケート・第1学年の生徒対象（集計結果）

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	57.1%	36.5%	5.1%	0.0%	1.3%
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	53.2%	38.5%	2.6%	1.9%	3.8%
	C 先生は、始業・終了のベルを守り、45分間の授業をしっかりと行っていると思いますか。	48.1%	44.9%	5.8%	1.3%	0.0%
生活	D 自分の教室は、いつも清潔で整理整頓が行き届いていると思いますか。	40.4%	45.5%	10.9%	3.2%	0.0%
	E 二高生は服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	30.8%	50.0%	12.8%	3.2%	3.2%
	F 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）をきちんとしてくれていますか。	60.3%	35.3%	3.8%	0.0%	0.6%
	G 二高は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	41.7%	34.0%	5.1%	3.2%	16.0%
	H 二高では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	60.3%	27.6%	5.8%	0.6%	5.8%
進路指導	I 二高では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	44.9%	36.5%	3.2%	1.9%	13.5%
	J 進路講演会・模範式分析・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	37.8%	45.5%	6.4%	0.6%	9.6%
その他	K 担任の先生は、クラスの生徒を分け隔てなく、公平に接してくれていますか。	55.1%	35.9%	1.3%	2.6%	5.1%
	L 担任の先生は、生活や進路、部活動など、様々なことについて相談しやすいですか。	42.9%	35.3%	11.5%	3.2%	7.1%
	M 担任の先生が生徒にどのような行動を期待してるか、生徒の側からはっきり理解できますか。	30.8%	44.2%	10.9%	1.9%	12.2%
	N あなたは、毎日の朝読書をきちんとしていますか。	73.1%	18.6%	5.8%	2.6%	0.0%
	O あなたは、ボランティア活動、学外活動、国際交流などを積極的にこなしていますか。	20.5%	25.6%	34.6%	17.3%	1.9%
	P 二高は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	41.0%	46.2%	2.6%	1.9%	8.3%

(2) 令和7年度学校評価アンケート・第2学年の生徒対象（集計結果）

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	54.1%	39.6%	4.4%	0.6%	1.3%
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	42.1%	47.8%	4.4%	1.3%	4.4%
	C 先生は、始業・終了のベルを守り、45分間の授業をしっかりと行っていると思いますか。	42.1%	49.1%	6.3%	1.3%	1.3%
生活	D 自分の教室は、いつも清潔で整理整頓が行き届いていると思いますか。	32.7%	50.9%	10.7%	3.1%	2.5%
	E 二高生は服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	35.2%	50.9%	9.4%	1.9%	2.5%
	F 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）をきちんとしてくれていますか。	47.2%	45.3%	5.0%	1.3%	1.3%
	G 二高は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	34.6%	42.8%	8.8%	3.8%	10.1%
	H 二高では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	47.2%	42.8%	6.9%	0.0%	3.1%
進路指導	I 二高では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	37.1%	46.5%	6.9%	3.1%	6.3%
	J 進路講演会・模試分析・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	37.7%	47.8%	6.9%	1.9%	5.7%
その他	K 担任の先生は、クラスの生徒を分け隔てなく、公平に接してくれていますか。	53.5%	40.9%	2.5%	0.6%	2.5%
	L 担任の先生は、生活や進路、部活動など、様々なことについて相談しやすいですか。	42.1%	41.5%	8.2%	3.8%	4.4%
	M 担任の先生が生徒にどのような行動を期待してるか、生徒の側からはっきり理解できますか。	35.8%	45.3%	9.4%	1.9%	7.5%
	N あなたは、毎日の読書をきちんとしていますか。	37.1%	37.1%	14.5%	8.8%	2.5%
	O あなたは、ボランティア活動、学外活動、国際交流などを積極的に行っていますか。	23.3%	37.1%	23.9%	13.8%	1.9%
	P 二高は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	37.1%	43.4%	11.3%	1.9%	6.3%

(3) 令和7年度学校評価アンケート・第3学年の生徒対象（集計結果）

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	61.7%	32.6%	3.5%	1.4%	0.7%
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	59.6%	34.0%	5.0%	0.0%	1.4%
	C 先生は、始業・終了のベルを守り、45分間の授業をしっかりと行っていると思いますか。	57.4%	36.9%	5.0%	0.7%	0.0%
生活	D 自分の教室は、いつも清潔で整理整頓が行き届いていると思いますか。	43.3%	42.6%	10.6%	2.1%	1.4%
	E 二高生は服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	43.3%	41.8%	11.3%	2.1%	1.4%
	F 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）をきちんとしてくれていますか。	55.3%	34.0%	5.0%	4.3%	1.4%
	G 二高は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	50.4%	28.4%	5.7%	4.3%	11.3%
進路指導	H 二高では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	60.3%	30.5%	3.5%	1.4%	4.3%
	I 二高では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	53.2%	38.3%	2.8%	2.8%	2.8%
その他	J 進路講演会・模範式分析・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	53.2%	39.7%	4.3%	0.7%	2.1%
	K 担任の先生は、クラスの生徒を分け隔てなく、公平に接してくれていますか。	66.0%	28.4%	2.8%	2.1%	0.7%
	L 担任の先生は、生活や進路、部活動など、様々なことについて相談しやすいですか。	60.3%	29.1%	7.8%	2.1%	0.7%
	M 担任の先生が生徒にどのような行動を期待してるか、生徒の側からはっきり理解できますか。	56.7%	32.6%	4.3%	2.1%	4.3%
	N あなたは、毎日の読書をきちんと行っていますか。	57.4%	23.4%	12.1%	4.3%	2.8%
	O あなたは、ボランティア活動、学外活動、国際交流などを積極的にしていますか。	43.3%	36.2%	11.3%	5.0%	4.3%
P 二高は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	48.9%	39.7%	3.5%	3.5%	4.3%	

(4) 令和7年度学校評価アンケート・全学年の生徒対象（集計結果）

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	57.5%	36.4%	4.4%	0.7%	1.1%
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	51.3%	40.4%	3.9%	1.1%	3.3%
	C 先生は、始業・終了のベルを守り、45分間の授業をしっかりと行っていると思いますか。	48.9%	43.9%	5.7%	1.1%	0.4%
生活	D 自分の教室は、いつも清潔で整理整頓が行き届いていると思いますか。	38.6%	46.5%	10.7%	2.9%	1.3%
	E 二高生は服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	36.2%	47.8%	11.2%	2.4%	2.4%
	F 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）をきちんとしてくれていますか。	54.2%	38.4%	4.6%	1.8%	1.1%
	G 二高は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	41.9%	35.3%	6.6%	3.7%	12.5%
進路指導	H 二高では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	55.7%	33.8%	5.5%	0.7%	4.4%
	I 二高では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	44.7%	40.6%	4.4%	2.6%	7.7%
その他	J 進路講演会・模試分析・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	42.5%	44.5%	5.9%	1.1%	5.9%
	K 担任の先生は、クラスの生徒を分け隔てなく、公平に接してくれていますか。	57.9%	35.3%	2.2%	1.8%	2.9%
	L 担任の先生は、生活や進路、部活動など、様々なことについて相談しやすいですか。	48.0%	35.5%	9.2%	3.1%	4.2%
	M 担任の先生が生徒にどのような行動を期待してるか、生徒の側からはっきり理解できますか。	40.6%	41.0%	8.3%	2.0%	8.1%
	N あなたは、毎日の朝読書をきちんとしていますか。	55.7%	26.5%	10.7%	5.3%	1.8%
	O あなたは、ボランティア活動、学外活動、国際交流などを積極的にしていますか。	28.5%	32.9%	23.7%	12.3%	2.6%
P 二高は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	42.1%	43.2%	5.9%	2.4%	6.4%	

(5) 令和7年度学校評価アンケート・第1学年の保護者対象（集計結果）

評価項目	4	3	2	1	0	
						よくあてはまる そう思う
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	42.5%	46.5%	2.4%	0.0%	8.7%
	B 教員は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）を適切に行っていると思いますか。	32.3%	41.7%	8.7%	0.0%	17.3%
	C お子様は、授業が楽しくわかりやすいと言っていますか。	17.3%	43.3%	26.8%	3.9%	8.7%
生活	D 学校の雰囲気がよく、生徒たちは生き生きしていると思いますか。	46.5%	42.5%	3.9%	1.6%	5.5%
	E 学校は、お子様のことについての相談に適切に対応していると思いますか。	29.9%	45.7%	5.5%	0.8%	18.1%
	F 教員による生活指導（服装指導・挨拶・問題行動への対応など）がきちんと行われていると思いますか。	35.4%	44.1%	5.5%	3.1%	11.8%
	G 学校は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	20.5%	38.6%	7.1%	0.8%	33.1%
進路指導	H 運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	42.5%	40.2%	6.3%	2.4%	8.7%
	I 生徒の能力や適正をきちんと把握し、計画的・組織的な進路指導が行われていると思いますか。	22.8%	40.9%	7.1%	0.0%	29.1%
その他	J 進路講演会・学年保護者懇談会・進路便りによる進路情報の提供が、十分に行われていると思いますか。	23.6%	44.9%	5.5%	1.6%	24.4%
	K 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っていると思いますか。	27.6%	48.8%	11.0%	2.4%	10.2%
	L 本校の目標・進学実績・教育内容は、市内の他の私立高校とはっきりとした違いがあると思いますか。	33.1%	31.5%	8.7%	0.8%	26.0%
	M 学校は、ボランティア活動、学外学習、国際交流を積極的に推進していると思いますか。	54.3%	36.2%	2.4%	0.0%	7.1%
	N 本校の教育内容（授業・進路指導・生活指導）は、総合的に満足できるものですか。	33.1%	51.2%	3.1%	1.6%	11.0%

(6) 令和7年度学校評価アンケート・第2学年の保護者対象（集計結果）

評価項目	4	3	2	1	0	
						よくあてはまる そう思う
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	33.6%	46.7%	5.8%	0.0%	13.9%
	B 教員は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）を適切に行っていると思いますか。	20.4%	46.7%	9.5%	2.9%	20.4%
	C お子様は、授業が楽しくわかりやすいと言っていますか。	8.8%	49.6%	21.2%	5.1%	15.3%
生活	D 学校の雰囲気がよく、生徒たちは生き生きしていると思いますか。	27.7%	53.3%	8.8%	2.9%	7.3%
	E 学校は、お子様のことについての相談に適切に対応していると思いますか。	19.7%	48.2%	10.2%	2.2%	19.7%
	F 教員による生活指導（服装指導・挨拶・問題行動への対応など）がきちんと行われていると思いますか。	27.0%	48.2%	5.8%	4.4%	14.6%
	G 学校は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	19.7%	38.0%	10.2%	5.8%	26.3%
進路指導	H 運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	32.8%	47.4%	6.6%	2.9%	10.2%
	I 生徒の能力や適正をきちんと把握し、計画的・組織的な進路指導が行われていると思いますか。	19.0%	42.3%	12.4%	1.5%	24.8%
その他	J 進路講演会・学年保護者懇談会・進路便りによる進路情報の提供が、十分に行われていると思いますか。	19.0%	41.6%	15.3%	0.0%	24.1%
	K 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っていると思いますか。	19.0%	51.8%	19.0%	3.6%	6.6%
	L 本校の目標・進学実績・教育内容は、市内の他の私立高校とはっきりとした違いがあると思いますか。	17.5%	40.9%	11.7%	1.5%	28.5%
	M 学校は、ボランティア活動、学外学習、国際交流を積極的に推進していると思いますか。	42.3%	47.4%	4.4%	0.0%	5.8%
	N 本校の教育内容（授業・進路指導・生活指導）は、総合的に満足できるものですか。	21.9%	55.5%	9.5%	4.4%	8.8%

(7) 令和7年度学校評価アンケート・第3学年の保護者対象（集計結果）

評価項目	4 よくあてはまる そう思う	3 ほぼあてはまる ほぼそう思う	2 あまりあてはまらない あまりそう思わない	1 あてはまらない そう思わない	0 判断できない わからない	
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	43.8%	46.9%	3.1%	0.0%	6.3%
	B 教員は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）を適切に行っていると思いますか。	38.5%	45.8%	5.2%	1.0%	9.4%
	C お子様は、授業が楽しくわかりやすいと言っていますか。	13.5%	51.0%	25.0%	2.1%	8.3%
生活	D 学校の雰囲気がよく、生徒たちは生き生きしていると思いますか。	38.5%	49.0%	5.2%	2.1%	5.2%
	E 学校は、お子様のことについての相談に適切に対応していると思いますか。	27.1%	58.3%	5.2%	0.0%	9.4%
	F 教員による生活指導（服装指導・挨拶・問題行動への対応など）がきちんと行われていると思いますか。	30.2%	50.0%	11.5%	1.0%	7.3%
	G 学校は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	18.8%	50.0%	12.5%	0.0%	18.8%
進路指導	H 運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	32.3%	49.0%	10.4%	1.0%	7.3%
	I 生徒の能力や適正をきちんと把握し、計画的・組織的な進路指導が行われていると思いますか。	30.2%	56.3%	6.3%	1.0%	6.3%
その他	J 進路講演会・学年保護者懇談会・進路便りによる進路情報の提供が、十分に行われていると思いますか。	27.1%	54.2%	7.3%	1.0%	10.4%
	K 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っていると思いますか。	25.0%	44.8%	20.8%	2.1%	7.3%
	L 本校の目標・進学実績・教育内容は、市内の他の私立高校とはっきりとした違いがあると思いますか。	22.9%	49.0%	3.1%	2.1%	22.9%
	M 学校は、ボランティア活動、学外学習、国際交流を積極的に推進していると思いますか。	40.6%	50.0%	2.1%	0.0%	7.3%
	N 本校の教育内容（授業・進路指導・生活指導）は、総合的に満足できるものですか。	30.2%	59.4%	4.2%	2.1%	4.2%

(8) 令和7年度学校評価アンケート・全学年の保護者対象（集計結果）

評価項目	4	3	2	1	0	
						よくあてはまる そう思う
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	39.4%	46.7%	3.9%	0.0%	10.0%
	B 教員は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）を適切に行っていると思いますか。	29.4%	44.7%	8.1%	1.4%	16.4%
	C お子様は、授業が楽しくわかりやすいと言っていますか。	13.1%	47.8%	24.2%	3.9%	11.1%
生活	D 学校の雰囲気がよく、生徒たちは生き生きしていると思いますか。	37.2%	48.3%	6.1%	2.2%	6.1%
	E 学校は、お子様のことについての相談に適切に対応していると思いますか。	25.3%	50.0%	7.2%	1.1%	16.4%
	F 教員による生活指導（服装指導・挨拶・問題行動への対応など）がきちんと行われていると思いますか。	30.8%	47.2%	7.2%	3.1%	11.7%
	G 学校は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	19.7%	41.4%	9.7%	2.5%	26.7%
進路指導	H 運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	36.1%	45.3%	7.5%	2.2%	8.9%
	I 生徒の能力や適正をきちんと把握し、計画的・組織的な進路指導が行われていると思いますか。	23.3%	45.6%	8.9%	0.8%	21.4%
その他	J 進路講演会・学年保護者懇談会・進路便りによる進路情報の提供が、十分に行われていると思いますか。	22.8%	46.1%	9.7%	0.8%	20.6%
	K 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っていると思いますか。	23.6%	48.9%	16.7%	2.8%	8.1%
	L 本校の目標・進学実績・教育内容は、市内の他の私立高校とはっきりとした違いがあると思いますか。	24.4%	39.7%	8.3%	1.4%	26.1%
	M 学校は、ボランティア活動、学外学習、国際交流を積極的に推進していると思いますか。	46.1%	44.2%	3.1%	0.0%	6.7%
	N 本校の教育内容（授業・進路指導・生活指導）は、総合的に満足できるものですか。	28.1%	55.0%	5.8%	2.8%	8.3%

(9) 令和7年度学校評価アンケート・附属中学校1学年の生徒対象（集計結果）

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	90.9%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%
	C 先生は、始業・終了のベルを守り、45分間の授業をしっかりと行っていると思いますか。	50.0%	40.9%	9.1%	0.0%	0.0%
生活	D 自分の教室は、いつも清潔で整理整頓が行き届いていると思いますか。	36.4%	31.8%	27.3%	4.5%	0.0%
	E 附属中生は服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	59.1%	36.4%	4.5%	0.0%	0.0%
	F 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）をきちんとしてくれていますか。	59.1%	27.3%	9.1%	4.5%	0.0%
	G 附属中は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	59.1%	18.2%	13.6%	4.5%	4.5%
進路指導	H 附属中では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	54.5%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%
	I 附属中では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	54.5%	27.3%	9.1%	4.5%	4.5%
その他	J 進路講演会・模試分析・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	18.2%	27.3%	9.1%	4.5%	40.9%
	K 先生は、クラスの生徒を分け隔てなく、公平に接してくれていますか。	81.8%	9.1%	4.5%	4.5%	0.0%
	L 先生は、生活や進路、部活動など、様々なことについて相談しやすいですか。	50.0%	40.9%	0.0%	4.5%	4.5%
	M 先生が生徒にどのような行動を期待しているか、生徒の側からはっきり理解できますか。	45.5%	36.4%	9.1%	0.0%	9.1%
	N あなたは、毎日の読書をきちんと行っていますか。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	O あなたは、ボランティア活動、学外活動、国際交流などを積極的に行っていますか。	31.8%	31.8%	22.7%	9.1%	4.5%
P 附属中は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	81.8%	13.6%	0.0%	4.5%	0.0%	

(10) 令和7年度学校評価アンケート・附属中学校2学年の生徒対象（集計結果）

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	54.5%	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	36.4%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%
	C 先生は、始業・終了のベルを守り、45分間の授業をしっかりと行っていると思いますか。	36.4%	45.5%	9.1%	0.0%	9.1%
生活	D 自分の教室は、いつも清潔で整理整頓が行き届いていると思いますか。	45.5%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%
	E 附属中生は服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	27.3%	36.4%	9.1%	18.2%	9.1%
	F 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）をきちんとしてくれていますか。	27.3%	36.4%	18.2%	0.0%	18.2%
	G 附属中は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	36.4%	9.1%	0.0%	18.2%	36.4%
進路指導	H 附属中では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	27.3%	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%
	I 附属中では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	36.4%	45.5%	0.0%	9.1%	9.1%
その他	J 進路講演会・模試分析・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	18.2%	36.4%	0.0%	0.0%	45.5%
	K 先生は、クラスの生徒を分け隔てなく、公平に接してくれていますか。	36.4%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%
	L 先生は、生活や進路、部活動など、様々なことについて相談しやすいですか。	45.5%	27.3%	0.0%	0.0%	27.3%
	M 先生が生徒にどのような行動を期待しているか、生徒の側からはっきり理解できますか。	36.4%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%
	N あなたは、毎日の読書をきちんと行っていますか。	54.5%	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%
	O あなたは、ボランティア活動、学外活動、国際交流などを積極的に行っていますか。	18.2%	27.3%	27.3%	18.2%	9.1%
P 附属中は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	63.6%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	

(11) 令和7年度学校評価アンケート・附属中学校3学年の生徒対象（集計結果）

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	46.2%	30.8%	15.4%	7.7%	0.0%
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%
	C 先生は、始業・終了のベルを守り、45分間の授業をしっかりと行っていると思いますか。	46.2%	46.2%	0.0%	0.0%	7.7%
生活	D 自分の教室は、いつも清潔で整理整頓が行き届いていると思いますか。	7.7%	53.8%	30.8%	7.7%	0.0%
	E 附属中生は服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	7.7%	69.2%	7.7%	0.0%	15.4%
	F 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）をきちんとしてくれていますか。	53.8%	38.5%	0.0%	0.0%	7.7%
	G 附属中は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	30.8%	23.1%	23.1%	7.7%	15.4%
進路指導	H 附属中では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	7.7%	30.8%	23.1%	15.4%	23.1%
	I 附属中では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	46.2%	15.4%	23.1%	7.7%	7.7%
その他	J 進路講演会・模範式分析・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	7.7%	61.5%	15.4%	0.0%	15.4%
	K 先生は、クラスの生徒を分け隔てなく、公平に接してくれていますか。	23.1%	53.8%	7.7%	0.0%	15.4%
	L 先生は、生活や進路、部活動など、様々なことについて相談しやすいですか。	46.2%	38.5%	7.7%	7.7%	0.0%
	M 先生が生徒にどのような行動を期待しているか、生徒の側からはっきり理解できますか。	38.5%	38.5%	7.7%	0.0%	15.4%
	N あなたは、毎日の読書生活をきちんと行っていますか。	69.2%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%
	O あなたは、ボランティア活動、学外活動、国際交流などを積極的に行っていますか。	0.0%	23.1%	53.8%	15.4%	7.7%
P 附属中は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	38.5%	30.8%	15.4%	0.0%	15.4%	

(12) 令和7年度学校評価アンケート・附属中学校全学年の生徒対象（集計結果）

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	69.6%	19.6%	4.3%	4.3%	2.2%
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	50.0%	41.3%	6.5%	0.0%	2.2%
	C 先生は、始業・終了のベルを守り、45分間の授業をしっかりと行っていると思いますか。	45.7%	43.5%	6.5%	0.0%	4.3%
生活	D 自分の教室は、いつも清潔で整理整頓が行き届いていると思いますか。	30.4%	37.0%	23.9%	6.5%	2.2%
	E 附属中生は服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	37.0%	45.7%	6.5%	4.3%	6.5%
	F 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）をきちんとしてくれていますか。	50.0%	32.6%	8.7%	2.2%	6.5%
	G 附属中は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	45.7%	17.4%	13.0%	8.7%	15.2%
進路指導	H 附属中では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	34.8%	26.1%	19.6%	10.9%	8.7%
	I 附属中では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	47.8%	28.3%	10.9%	6.5%	6.5%
その他	J 進路講演会・模範式分析・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	15.2%	39.1%	8.7%	2.2%	34.8%
	K 先生は、クラスの生徒を分け隔てなく、公平に接してくれていますか。	54.3%	32.6%	4.3%	2.2%	6.5%
	L 先生は、生活や進路、部活動など、様々なことについて相談しやすいですか。	47.8%	37.0%	2.2%	4.3%	8.7%
	M 先生が生徒にどのような行動を期待しているか、生徒の側からはっきり理解できますか。	41.3%	41.3%	6.5%	0.0%	10.9%
	N あなたは、毎日の朝読書をきちんとしていますか。	67.4%	23.9%	6.5%	0.0%	2.2%
	O あなたは、ボランティア活動、学外活動、国際交流などを積極的に行っていますか。	19.6%	28.3%	32.6%	13.0%	6.5%
P 附属中は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	65.2%	21.7%	4.3%	2.2%	6.5%	

(13) 令和7年度学校評価アンケート附属中学校第1学年の保護者対象（集計結果）

評価項目	4	3	2	1	0	
						よくあてはまる そう思う
家庭	A お子さんは、学校に楽しく通学していますか。	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%
	B お子さんの登下校(通学距離・通学方法など)に不安はありますか。	13.6%	9.1%	22.7%	54.5%	0.0%
	C お子さんは、朝食と夕食をきちんととっていますか。	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	D お子さんは、学校のことについてよく話をしますか。	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%
	E お子さんは、学校からの連絡をきちんと見せていますか。	22.7%	50.0%	22.7%	4.5%	0.0%
	F お子さんは、毎日、家庭学習に取り組んでいますか。	36.4%	45.5%	18.2%	0.0%	0.0%
学校生活	G 学校では、あいさつ指導がきちんと行われていると思いますか。	45.5%	36.4%	4.5%	0.0%	13.6%
	H 学校では、服装・頭髪指導がきちんと行われていると思いますか。	50.0%	27.3%	0.0%	9.1%	13.6%
	I 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思いますか。	59.1%	31.8%	0.0%	0.0%	9.1%
	J 学校は、お子さんからの相談に適切に対応していると思いますか。	63.6%	22.7%	0.0%	0.0%	13.6%
	K 学校は、ご家庭からの相談に適切に対応していると思いますか。	77.3%	18.2%	0.0%	0.0%	4.5%
	L 学校に信頼できる先生はいると思いますか。	86.4%	9.1%	0.0%	0.0%	4.5%
学校学習	M お子さんは、授業が楽しいと言っていますか。	31.8%	59.1%	0.0%	9.1%	0.0%
	N お子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。	13.6%	54.5%	18.2%	4.5%	9.1%
	O お子さんは、授業の内容を理解していると思いますか。	13.6%	45.5%	36.4%	0.0%	4.5%
学校全般	P 学校は家庭への連絡を、きめ細やかに行っていると思いますか。	45.5%	50.0%	0.0%	0.0%	4.5%
	Q 「附属中だより」の内容は、役に立っていますか。	45.5%	50.0%	0.0%	0.0%	4.5%
	R 本校の教育活動は、中高一貫校として満足のゆくものですか。	63.6%	31.8%	4.5%	0.0%	0.0%
	S 附属中学校に入学させて良かったと思いますか。	86.4%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%

(14) 令和7年度学校評価アンケート附属中学校第2学年の保護者対象（集計結果）

評価項目	質問	4	3	2	1	0
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
家庭	質問1 お子さんは、学校に楽しく通学していますか。	36.4%	45.5%	9.1%	9.1%	0.0%
	質問2 お子さんの登下校(通学距離・通学方法など)に不安はありますか。	18.2%	9.1%	27.3%	45.5%	0.0%
	質問3 お子さんは、朝食と夕食をきちんととっていますか。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	質問4 お子さんは、学校のことについてよく話をしますか。	63.6%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%
	質問5 お子さんは、学校からの連絡をきちんと見せていますか。	45.5%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%
	質問6 お子さんは、毎日、家庭学習に取り組んでいますか。	27.3%	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%
学校生活	質問7 学校では、あいさつ指導がきちんと行われていると思いますか。	54.5%	27.3%	9.1%	0.0%	9.1%
	質問8 学校では、服装・頭髪指導がきちんと行われていると思いますか。	45.5%	36.4%	9.1%	0.0%	9.1%
	質問9 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思いますか。	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%
	質問10 学校は、お子さんからの相談に適切に対応していると思いますか。	54.5%	27.3%	18.2%	0.0%	0.0%
	質問11 学校は、ご家庭からの相談に適切に対応していると思いますか。	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	質問12 学校に信頼できる先生はいると思いますか。	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%
学校学習	質問13 お子さんは、授業が楽しいと言っていますか。	36.4%	36.4%	18.2%	0.0%	9.1%
	質問14 お子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。	9.1%	45.5%	18.2%	9.1%	18.2%
	質問15 お子さんは、授業の内容を理解していると思いますか。	9.1%	45.5%	45.5%	0.0%	0.0%
学校全般	質問16 学校は家庭への連絡を、きめ細やかに行っていると思いますか。	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%
	質問17 「附属中だより」の内容は、役に立っていますか。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	質問18 本校の教育活動は、中高一貫校として満足のゆくものですか。	54.5%	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%
	質問19 附属中学校に入学させて良かったと思いますか。	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%

(15) 令和7年度学校評価アンケート附属中学校第3学年の保護者対象（集計結果）

評価項目	質問	4	3	2	1	0	
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない	
家庭	質問1	お子さんは、学校に楽しく通学していますか。	60.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%
	質問2	お子さんの登下校(通学距離・通学方法など)に不安はありますか。	10.0%	10.0%	20.0%	50.0%	10.0%
	質問3	お子さんは、朝食と夕食をきちんととっていますか。	70.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	質問4	お子さんは、学校のことについてよく話をしますか。	50.0%	20.0%	20.0%	0.0%	10.0%
	質問5	お子さんは、学校からの連絡をきちんと見せていますか。	30.0%	30.0%	10.0%	20.0%	10.0%
	質問6	お子さんは、毎日、家庭学習に取り組んでいますか。	20.0%	30.0%	10.0%	30.0%	10.0%
学校生活	質問7	学校では、あいさつ指導がきちんと行われていると思いますか。	40.0%	30.0%	0.0%	0.0%	30.0%
	質問8	学校では、服装・頭髪指導がきちんと行われていると思いますか。	40.0%	40.0%	10.0%	0.0%	10.0%
	質問9	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思いますか。	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%	20.0%
	質問10	学校は、お子さんからの相談に適切に対応していると思いますか。	50.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%
	質問11	学校は、ご家庭からの相談に適切に対応していると思いますか。	60.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	質問12	学校に信頼できる先生はいると思いますか。	60.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%
学校学習	質問13	お子さんは、授業が楽しいと言っていますか。	10.0%	60.0%	20.0%	0.0%	10.0%
	質問14	お子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。	10.0%	40.0%	0.0%	20.0%	30.0%
	質問15	お子さんは、授業の内容を理解していると思いますか。	0.0%	50.0%	10.0%	20.0%	20.0%
学校全般	質問16	学校は家庭への連絡を、きめ細やかに行っていると思いますか。	50.0%	20.0%	10.0%	20.0%	0.0%
	質問17	「附属中だより」の内容は、役に立っていますか。	70.0%	0.0%	10.0%	0.0%	20.0%
	質問18	本校の教育活動は、中高一貫校として満足のゆくものですか。	50.0%	30.0%	10.0%	0.0%	10.0%
	質問19	附属中学校に入学させて良かったと思いますか。	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%

(16) 令和7年度学校評価アンケート附属中学校全学年の保護者対象（集計結果）

評価項目	質問	4	3	2	1	0	
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない	
家庭	質問1	お子さんは、学校に楽しく通学していますか。	60.5%	25.6%	9.3%	2.3%	2.3%
	質問2	お子さんの登下校(通学距離・通学方法など)に不安はありますか。	14.0%	9.3%	23.3%	51.2%	2.3%
	質問3	お子さんは、朝食と夕食をきちんととっていますか。	79.1%	18.6%	0.0%	0.0%	2.3%
	質問4	お子さんは、学校のことについてよく話をしますか。	46.5%	37.2%	14.0%	0.0%	2.3%
	質問5	お子さんは、学校からの連絡をきちんと見せていますか。	30.2%	41.9%	16.3%	9.3%	2.3%
	質問6	お子さんは、毎日、家庭学習に取り組んでいますか。	30.2%	34.9%	18.6%	14.0%	2.3%
学校生活	質問7	学校では、あいさつ指導がきちんと行われていると思いますか。	46.5%	32.6%	4.7%	0.0%	16.3%
	質問8	学校では、服装・頭髪指導がきちんと行われていると思いますか。	46.5%	32.6%	4.7%	4.7%	11.6%
	質問9	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思いますか。	53.5%	30.2%	7.0%	0.0%	9.3%
	質問10	学校は、お子さんからの相談に適切に対応していると思いますか。	58.1%	23.3%	7.0%	0.0%	11.6%
	質問11	学校は、ご家庭からの相談に適切に対応していると思いますか。	69.8%	20.9%	2.3%	2.3%	4.7%
	質問12	学校に信頼できる先生はいると思いますか。	74.4%	16.3%	4.7%	0.0%	4.7%
学校学習	質問13	お子さんは、授業が楽しいと言っていますか。	27.9%	53.5%	9.3%	4.7%	4.7%
	質問14	お子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。	11.6%	48.8%	14.0%	9.3%	16.3%
	質問15	お子さんは、授業の内容を理解していると思いますか。	9.3%	46.5%	32.6%	4.7%	7.0%
学校全般	質問16	学校は家庭への連絡を、きめ細やかに行っていると思いますか。	44.2%	44.2%	4.7%	4.7%	2.3%
	質問17	学校だよりの内容は、役に立っていますか。	51.2%	39.5%	2.3%	0.0%	7.0%
	質問18	本校の教育活動は、中高一貫校として満足のゆくものですか。	58.1%	32.6%	4.7%	0.0%	4.7%
	質問19	附属中に入学させて良かったと思いますか。	76.7%	14.0%	4.7%	0.0%	4.7%

(17) 令和7年度学校評価アンケート教職員対象（集計結果）

評価項目	4	3	2	1	0	
	よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない	
指導の重点	1 先生達は始業ベルとともに授業を開始し、45分完全授業の実施をしていると思いますか。	40.0%	56.7%	0.0%	0.0%	3.3%
	2 コースの特色に応じた授業や行事が行われ、生徒の学ぶ意欲を引き出していると思いますか。	36.7%	60.0%	0.0%	0.0%	3.3%
	3 「NOLTY手帳」などの手帳を活用してできる量をやらせるように指導するなど、家庭学習の習慣化を奨励していると思いますか。	3.3%	40.0%	23.3%	6.7%	26.7%
	4 時間厳守・挨拶・服装容儀等の基本的な生活習慣の確立を図るための適切な指導が行われていると思いますか。	16.7%	70.0%	13.3%	0.0%	0.0%
	5 生徒の能力や適正を把握し、計画的・組織的な進路指導が行われていると思いますか。	23.3%	53.3%	13.3%	0.0%	10.0%
	6 先生達は読書の充実に努めていると思いますか。	13.3%	60.0%	13.3%	3.3%	10.0%
	7 生徒は積極的に部活動を行っていると思いますか。	23.3%	63.3%	10.0%	0.0%	3.3%
	8 先生達は生徒がボランティア活動や学外学習等に積極的に参加するように働きかけていると思いますか。	36.7%	56.7%	0.0%	0.0%	6.7%
	9 教員同士の連携がきちんととれていると思いますか。	16.7%	53.3%	16.7%	3.3%	10.0%
	10 先生達は「主体的・対話的で深い学び」の実践のため、日々の授業改善の研究に努めていると思いますか。	16.7%	56.7%	13.3%	0.0%	13.3%
	11 二高は、いじめに対する方針を明確に示し、いじめの早期発見や実態把握に努めていると思いますか。	50.0%	46.7%	3.3%	0.0%	0.0%
教務部の取組	12 授業第一主義の実践や校外の研修への参加の呼びかけなど、AL実施を含む授業改善の啓発に努めていると思いますか。	23.3%	63.3%	6.7%	0.0%	6.7%
	13 日課、考査、表簿等に係る業務を適切かつ能率的に遂行していると思いますか。	50.0%	43.3%	0.0%	0.0%	6.7%
教務部(附属中)の取組	14 中学校の学習活動の内容が適切に発信されていると思いますか。	23.3%	56.7%	6.7%	3.3%	10.0%
総務部の取組	15 ボランティア活動や学外学習について、教員や生徒への広報(募集)活動が適切になされていると思いますか。	30.0%	63.3%	3.3%	0.0%	3.3%
	16 学校紹介パンフレットやホームページは、二高の進学実績・教育内容をアピールするものになっていると思いますか。	46.7%	46.7%	3.3%	0.0%	3.3%
	17 催事(体験入学・受験講習会・説明会)及び中学進学説明(年3回)において、市内の他の私立高校との違いを明確に打ち出していると思いますか。	30.0%	46.7%	0.0%	0.0%	23.3%
管理部の取組	18 安全な施設・設備を提供するため、日常の点検・整備がきちんと行われていると思いますか。	40.0%	50.0%	3.3%	6.7%	0.0%
	19 蔵書の管理や読書の啓蒙など、図書室の運営が適切に行われていると思いますか。	30.0%	43.3%	10.0%	6.7%	10.0%
生徒指導部の取組	20 先生達による朝の昇降口の挨拶や服装指導は、積極的に行われていると思いますか。	36.7%	56.7%	6.7%	0.0%	0.0%
	21 健康相談は、学年や担任と連携して行われていると思いますか。	30.0%	63.3%	0.0%	0.0%	6.7%
進路指導部の取組	22 学力の養成に関し、外部機関との分析と教科や学年との連携が図られていると思いますか。	20.0%	60.0%	13.3%	0.0%	6.7%
	23 LHRや総合的な探究の時間により、キャリア教育が実践・推進されていますか。	13.3%	70.0%	6.7%	3.3%	6.7%
渉外部の取組	24 PTAの各行事について、PR活動や案内文の配付時期は適切だと思いますか。	33.3%	56.7%	0.0%	0.0%	10.0%
	25 PTA行事に関して、役員・委員の主体的運営と会員の積極的な参加が実践されていると思いますか。	26.7%	63.3%	3.3%	0.0%	6.7%
事務部の取組	26 感じの良い態度で、接客ならびに窓口対応ができていますか。	43.3%	50.0%	3.3%	0.0%	3.3%
	27 集金業務にミスが生じないように、確認が十分できていると思いますか。	50.0%	40.0%	6.7%	0.0%	3.3%

令和7年度学校評価・校務分掌の中間報告について

(学校評価委員会事務局・令和7年11月21日)

*取組度：4（よく取り組んでいる 80%以上） 3（ほぼ取り組んでいる 50～79%） 2（あまり取り組んでいない 20～49%） 1（取り組んでいない 19%以下）

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
教務部 (全日制)	(1) 新学習指導要領に基づき大学入試改革に対応するための授業改善に向けた研修と実践を推進する。 (2) コース及び附属中と連携し、進路や中高一貫教育に対応した教育課程や学校行事の充実を図る。	授業第一主義を実践する。開始と終了の時間を厳守する45分完全授業の実施、そのための工夫と徹底した教材研究に基づく授業を行うことの徹底を図る。またICTの活用をはじめ、生徒が主体的に学べる授業実践に向け、研修・研究を推進するとともに、授業評価アンケートや授業実態記録簿の活用、授業公開・互見授業を行い、授業力の向上の支援に努める。	3	教務部に届けられた研修案内は校務支援システム BLEND で連絡・周知しているところである。昨年度、3年間で各自研修に参加するよう呼びかけがあり、研修へ参加する教科が複数みられている。また以前に比べ、ICTの活用した授業も進められている。今後、生徒が回答した授業評価アンケート結果を共有し、互見授業を通して研究を進め、授業改善につなげていけるようサポートしていきたいと考えている。
		ルーブリックを作成・共有し、次年度からの活用に向けて生徒の学習をサポートする土台をつくる。	2	新学習指導要領改訂に伴い、これまで各教科にはシラバス作成の際に、評価規準・評価基準を順次、整えていただいていた。これらをもとにルーブリックの作成を進めてきたいと考えている。
		コース委員と連携し、各コースの特色や実態に適合する教育課程や学校行事について研究を行う。	3	昨年度で教育課程表の改訂の目途が付き、コースごとの行事は充実している。さらにコースで行事を創意工夫する動きもあることから、次年度の年間行事予定表の作成を通して、各コースと連携して検討を進めていきたい。
		昨年度導入した校務支援システムのもと、日課・表簿・消耗品・機器の適正な管理を行うとともに、校務処理業務の効率化を目指す。	3	昨年度、校務支援システムの導入から確認された留意事項をもとに、ダブルチェックを分担して行い、成績処理をはじめとしてここまでは大きな問題もなく進めてこられている。PC、プリンター、コピー機などの機器が老朽化しており、更新に向け課題が残るところである。
教務部 (通信)	(1) 地域社会に対して、「学びのセーフティーネット」を提供するために安心・安全な学習環境を構築・維持する。 (2) 「基礎的な学び」と「進路に応じた学び」の積み重ねを図り、自立できる人材、進路達成に取り組む人材、社会に主体的に関わる人材の育成のための支援を行う。	(1) 「学習管理システムの構築」 通信制の課程の学習活動を構成する面接指導、添削指導、学期末試験について、それぞれの状況が分かりやすい学習管理システムを構築する。	3	昨年度の学習活動を振り返り、通信制課程に通う生徒の多様な特性・学力等の実状に合わせ学習計画を作成した。具体的には教科担当者や相談し英語・数学の面接指導数を増やすことで、基礎学力の向上を図った。中学校の振り返り学習を行うことにより、生徒も安心して学習に臨んでいる。学習活動全体を通して、生徒は面接指導及び添削指導等の流れについて理解して、実行できている。集団での活動が苦手な生徒については、別日登校や別室での対応などを提案している。
		(2) 「ICTを活用しての学習支援」 東京書籍のインターネット講座やリクルート社のスタディサプリを利用し、生徒一人一人に対して具体的な講座名を指示して、①振り返り学習の指導②学力の定着・向上のための指導を行う。	3	東京書籍のインターネット講座を利用して、転入学を含めた面接指導の欠席分を補充している。さらに、自主学習やレポート課題作成のための手段として促している。二者面談では、生徒自身の進路に合わせてスタディサプリの年間学習計画を基に、志望進路実現のための学習方法などのアドバイスを行っている。昨年度から実施している到達度テストの結果を授業担当者間でも情報共有して、個々の基礎学力向上のために2つの教材を併用しながら対応していきたい。
		(3) 「入校者数の増加に取り組む」 今年度の生徒募集活動として、学校案内、ホームページ、個別相談会を用いながら、「二高通信制課程の具体的な特色」を発信する。活動の柱は、次の3つである。①学校案内の配付範囲の拡大 ②学校案内・ホームページの内容の充実 ③中学校教員に対する広報	3	生徒募集活動は昨年度より3ヶ月早く行うことができている。①学校案内の配布範囲に関しては、昨年度より範囲を大幅に拡大させて八戸地区全中学生配布の他に上十三地区および岩手県北地域まで配布することができた。②学校案内は、本校の学びの特色の他に単位修得までの流れや教育活動の実施場所について、受験生がイメージしやすいように工夫して作成した。さらに今春卒業生からのメッセージを掲載した。③7月下旬から夏期休業中に各中学校訪問を行い、本校の取り組みの説明、学校案内の配布のお願いや個別相談会の案内などの広報活動を行った。
教務部 (附属中)	(1) 先取り教育とともに、すべての生徒に対しての配慮を工夫し確かな学力を育む。	教育心理学の専門家を招聘しての校内研修会の実施、合同会議における生徒情報の共有を図り、学力の向上及び定着を図る。	3	合同会議を通じて、授業担当者と生徒情報の共有を図るとともに、立教大学大石先生を招いての研修会を通じて、それぞれのケースに応じた配慮の仕方を学び、共有することによって生徒の特性に応じた授業展開が行える環境づくりに努めている。先取り教育をはかることで、高校進学時にゆとりを持った進捗設定ができるようにしている。
	(2) 学校生活や体験的な活動の中で、「礼儀・礼節」を実践し、社会性を育成する。	授業や学校行事、また社会に触れる活動を通して附属中生としての自覚を持たせ、校風を意識した生活を実践させる。	3	附属中祭のせんべい汁販売での接客や校外学習やグラウンドゴルフ大会、50周年記念式典など、校外で活動した場面では、普段の挨拶や立ち居振る舞いについて高い評価をいただく場面もあった。普段の活動時の挨拶に対する意識づけを高めていくことを今後も継続していきたい。
	(3) 将来の進路選択の参考になる機会を設け、目標を達成できるよう支援する。	体験的な学習行事、各種ボランティア活動を通して社会や本物にふれる機会を設け、主体性、独創性、向上心の育成に努める。	3	校外学習は1、3年生が八甲田散策、2年生が浅虫臨海実習を行った。東京研修では東京大学駒場リサーチキャンパスやJAXA 訪問を通じて、本物に触れる経験をしている。防災減災復興研修は岩手県沿岸の各地を訪問し、東日本大震災の遺構見学を行うとともに、各地の災害からの復興状況をじかに学ぶ機会とした。今後の行事は、JICA による国際交流や国立八戸工業高等専門学校によるロボット娘などの体験的行事が予定されており、進路選択の幅が広がる取り組みとしたい。
	(4) 学校行事、特色教育、授業や生徒の様子などを発信し、開かれた学校を目指す。	保護者および地域にホームページ・インスタグラム・学校だよりを活用し生徒の活躍や学校行事・授業の様子などを伝える。	2	保護者への情報は毎月発行の「学校だより」で、学校行事や生徒の活躍のPRはホームページにて行っているがホームページ更新の頻度が昨年度より減っているため、よりタイムリーな運営に努めたい。学校説明会や講座に関しては、生徒手作りのマスコットを用いたガチャボンの実施や、生徒による説明会の実施によって、より小学生の興味を引き付けやすい募集活動につなげている。

令和7年度学校評価・校務分掌の中間報告について

(学校評価委員会事務局・令和7年11月21日)

*取組度：4 (よく取り組んでいる 80%以上) 3 (ほぼ取り組んでいる 50~79%) 2 (あまり取り組んでいない 20~49%) 1 (取り組んでいない 19%以下)

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
総務部	(1) 募集ツールの作成及び生徒募集イベント・広報活動を主管し、入学者数の増加を図る。	広域募集活動の展開・各種制作物	3	募集活動については、春から部活動体験会で大幅増となったほか、体験入学参加人数が1061名と、昨年並みの応募状況(1081名)並みの数値を維持し、附属中学校との合同開催で中高一貫校の印象を強められたのではないかと。8月〇、10月に行われた学校説明会では、昨年の応募状況を上回る結果となった。8月(令和6年5組から令和7年22組、17組増)、10月(令和6年4組から令和7年7組、3組増)。年度当初HPやInstagramの強化を目標とし、Instagramに関しては各部活動のInstagramと連携したことは効果的であった。しかしながら、11月に行われる予定であった秋の授業体験会(学校周辺が冠水したため急遽中止)は前年度よりも応募数を減少させた(令和6年112名、令和7年91名、21名減)。生徒・保護者へ丁寧に対応するなど、翌春の入学者数200名を達成できるように努力を継続したい。
	(2) ボランティア活動や国際交流事業を推進し、生徒のキャリアアップを図る。	ボランティアなど	3	ボランティア活動については、一般的に数多くの生徒が積極的に参加する傾向がみられ、参加する生徒も当日欠席することなく集合し、元気に活動していた。総務部放課後ボランティアも日替わりで様々な生徒が時間をつくって業務のサポートをするなど、二高=ボランティアが定着してきたように思う。本校生徒の活動としてはもちろん、八戸の活性化にも貢献していくようにしたい。今後のボランティアや学外学習の内容も積極的にHPやInstagramに掲載し、外部への発信を継続していきたい。
進路指導部	(1) 体系的で効果的な進路指導体制を構築していく (2) 生徒へのキャリア教育を通して、社会的自立の基盤となる経験や能力を身につけさせる	進路実績の向上：生徒個々の希望進路実現のために様々な場面を通して、学力の向上を図る	3	定期的な外部模試の分析を各学年へ発信しており、各学年でも次の学習活動へのプログラム作りの参考となっている。生徒個々の希望に寄り添う取り組みになっていると思われる。放課後講座、夏・冬ゼミについても整備されてきた。
		キャリア教育の実践：ホームルーム、探究、放課後や長期休業中の学外学習、課外活動を通してより深い学びを支援する	3	総合的な探究に時間に関して、実施記録簿とルーブリックの作成はまだであるため、今年度中の完成を目指す(探究活動の3年間の内容を可視化するためにも)。夏休みには2学年の就職希望者にインターンシップを実施した。学外学習等の案内はできているが、生徒が積極的に参加しているかどうかは、レポートの提出等で確認をする必要がある。
		情報の発信と共有：3年間を通じた取り組み事項の整理とその内容を確認して、学習プログラム等の内容や配置を行う。また生徒や保護者へ進路に関わる情報を発信する	3	生徒には進学相談会や各種大学の学習行事に関する配信を定期的に行っている。保護者への進路意識アンケートに関しては12月を目途に実施していきたいと考えている。保護者への情報配信については、必要な情報を受け取れるように配信内容・タイミングを考慮して行っていきたい。
		八戸工業大学との連携内容の充実：体験講義、公開講座、研究室訪問、高大連携講座など様々な場面を通じて、生徒の学びを支援する	3	今年度は、1学年全員でサマーサイエンスプログラム、体験講義に参加した。また、カーボンニュートラル入門への参加など連携した活動が定着している。年度当初計画していたものはすべて終了するか、あるいは現時点で順調に行われている。

令和7年度学校評価・校務分掌の中間報告について

(学校評価委員会事務局・令和7年11月21日)

*取組度：4 (よく取り組んでいる 80%以上) 3 (ほぼ取り組んでいる 50~79%) 2 (あまり取り組んでいない 20~49%) 1 (取り組んでいない 19%以下)

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
生徒指導部	(1) 生徒の基本的生活習慣の確立を図り、安心・安全な学校の環境づくりを行う。また、有事の際には生徒の命を守り、安全を確保できる体制を構築する。 (2) 生徒会活動および部活動の活性化を推進する。 (3) 生徒の精神的・身体的健康の保持増進を図るとともに、怪我・事故発生時に迅速な対応をとる。 (4) 清潔で健康的な学校環境を常時整備する。 (5) 特別支援教育のスキルを向上させ、適切な指導と支援を行う。	安心・安全な学校環境づくりと基本的生活習慣の確立	3	「いじめ防止計画」に基づいて「いじめ防止教育」や「情報モラル教育」を実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を進めている。今年度は11月末時点で、いじめを1件認知している。他にも各学年で人間関係やSNS絡みのトラブルは発生しているが、担任だけで抱え込まず、学年や学校全体で問題を共有し、解決に取り組むことができています。朝の登校指導や担任を中心とした日々の指導により、服装容儀の指導と生徒観察を行っているが、多くの生徒の基本的生活習慣は確立されている。引き続き、生徒の規範意識を高めるとともに、問題を抱える生徒の早期発見と早期対応に努めたい。今後は、文部科学省が示す「生徒が主体的に校則を見直す取り組み」を推進していきたい。
		有事対応の危機管理対策	3	避難訓練を年2回実施し、当初の予定どおりに行うことができた。第1回は校舎内における火災、第2回は地震発生を想定した実践的な内容とした。両訓練は、それぞれ異なる避難行動が求められるものであったが、教職員・生徒ともに迅速かつ冷静に行動し、円滑に避難を完了することができた。続出するクマの出没に対し、生徒に注意を呼びかけるとともに、危機管理マニュアルに大型野生獣出没対応を追加した。
		生徒会活動の活性化および部活動の推進	3	生徒会の行事に関しては、おおむね計画通りに進めることができた。文化祭に関しては、卒業生や保護者の方のご協力もあり、過去最多の来場者数となった。大きなトラブルもなく、無事終えることができた。スポーツ大会においては、競技中の事故により搬送される生徒もいたが、迅速に対応した。今年度の反省をいかし、来年度につなげていきたい。部活動においては、昨年度から始めた部活動体験を3年連続で実施した。のべ130人の中学生に参加して頂き、昨年度よりも参加者を増やすことができた。個人戦では男子テニス部が優勝でインターハイ出場。団体戦では、女子テニス部が準優勝で東北大会に出場した。新人戦では、女子サッカー部が準優勝を収めた。
		精神的・身体的保持増進および怪我・事故発生時の対応	3	学校医と密に連絡を取り合い、各種検査を無事に終えることができた。教育相談に関しては、様々な理由でアドバンスルームを利用する生徒が多いので、宮崎先生に定期的にカウンセリングをしてもらいながら様子を見ている。また、友だちとの関係が上手く築けない生徒が多く、担任や学年と連携して情報共有しながら生徒への対応をしている。今年度もアドバンスルーム監督をお願いし、全教員でアドバンス生をサポートする体制を整えている。ファイルのリレー形式にすることで、昨年度より教員の足がアドバンスルームへ向いている。心肺蘇生法講習会は、7月に教員と一部の生徒を対象に実施。来年度は運動部の生徒を中心に予定。
		健康的な環境の整備や特別支援教育へのスキルアップ向上および支援計画作成	3	保健だよりの発行は、保健委員会の生徒と毎月作成しBLENDにて配信を行っている。体育祭の前には熱中症対策号を追加で配信した。今後の予定としてはインフルエンザ予防の呼びかけの際に特別号を発行したい。感染症対策としては、保健委員を中心に消毒液の補充など着実に実施している。冬には毎時間の換気を実施予定。保健室利用の多い生徒や家庭の事情で配慮が必要な生徒に関しては、毎月の職員会議を通じて情報共有を図っている。またQUテストを実施し、配慮が必要な生徒の把握に努め学年内で共有されている。
渉外部	学校内外の関係組織との連携を維持・強化することで、PTA活動の活性化及び学校教育活動の充実化を図る。特に、PTA、後援会、同窓会、PTA・OB会からの協賛を創立五十周年記念事業に収斂させ、スクールポリシーの実現と、生徒目線の未来を見通した教育活動の基礎をつくる。	PTA活動の積極的な企画、運営。	4	保護者向けでは、PTA総会及び第1回PTA委員会を、PTA会長はじめ関係するPTA役員の方々、学年と連絡を取り合いながら滞りなく進めることができた。体育祭は保護者の参観を実施し、登校時一声運動も第1回目を実施した。二高祭では、母親研修委員を始め多くのPTA委員の方々の協力を得て、ハザーとカフェを実施し盛況であった。対外的には、私学助成署名活動を行い、私学振興大会/戸大会ではホスト地区として実施に協力した。県高P連関連では、東北高P連東北大会仙台大会、全国高P連三重大会に参加してPTA活動に関する知見を得た。
		後援会及び同窓会、PTA・OB会との連携。	3	後援会については、総会を実施して創立五十周年記念事業への協力の了承をいただいた。同窓会からも、納涼会や協賛金等において記念事業への協力をいただいた。PTA・OB会については、役員会と総会・懇親会を実施し、創立五十周年記念事業への協力の了承をいただいた。
		創立五十周年記念事業(令和7年度)の計画及組織構築と、学校外の組織との連携。	4	総会・役員会を数回開催するとともに、協賛会の役員・委員・教職員の協力をいただき、令和7年10月4日(土)、創立五十周年記念式典・記念講演・祝賀会を挙げる事ができた。式後は、寄付者への記念誌発送業務、図書館の利用体制の構築、監査会へ向けての決算業務、解散会の準備などを行っている。
		ユネスコスクール認定のための準備、年次活動の把握、ESD(持続可能な開発のための教育)の振興。	3	令和7年4月3日付でユネスコ本部から「ユネスコスクール」として正式認定を受けた。認定後の体制の再編成については、今後進める予定。関連内容として「第16期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」(公益社団法人日本ユネスコ協会連盟)、仙台城南高等学校主催WWLコンソーシアム構築支援事業「事業連携校」、「サマーエクスチェンジ」(青森県ユネスコスクール連絡協議会主催)など。
事務部	(1) 学校の第一印象である、窓口及び電話対応での親切丁寧及び的確な業務の励行 (2) 事務職員の資質向上を図る	言葉遣い、身なり等基本的な接客マナーに留意し、笑顔での対応を心掛ける	3	来客者に気配りを怠らず、笑顔で適切に対応できている。
		事務職員の資質向上を図る	3	事務処理能力・情報処理能力・状況判断能力の向上を図りつつ、規則等についての理解を深めている。事務室内で処理する仕事について、担当者が不在でも対応できるような体制を整えていく。

令和7年度学校評価・学年の中間報告について

(学校評価委員会事務局・令和7年11月21日)

*取組度：4（よく取り組んでいる 80%以上） 3（ほぼ取り組んでいる 50～79%） 2（あまり取り組んでいない 20～49%） 1（取り組んでいない 19%以下）

担当	今年度の重点目標 (今年度の指導の重点達成のため、学年で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の重点目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点 ・ 今後改善すべき点
1学年	1 安心できる学習環境の整備と向上 2 クラス・学年のチームの構築 3 生徒それぞれに寄り添う指導体制の確立	<p><生徒指導></p> <ol style="list-style-type: none"> いじめ防止の徹底（兆候の発見、携帯電話・SNS等の使用の適切な指導、起こった際の早期対応）。 服装・容儀および生活習慣の指導（朝の挨拶・玄関指導、課程との連絡・連携を密にした生徒をとりまく環境の把握）。 人権意識・協働能力・問題解決能力の育成（部活動・特別活動・ボランティアなどの奨励） <p><学習・進路指導></p> <ol style="list-style-type: none"> 基本的学習習慣の確立（手帳の活用や学期2回の2者面談などを通し、生徒個々の中期的な見通しの確立、基礎学力の確立に向けた講習の活用） 「読解力」の基礎作り（朝読書・新聞コラム書写・読解の実施） 未来が求める人材像への対応、正解のない問いへの対応（新しい学力観への対応、学外学習・ボランティア活動への参加奨励、各種資格取得への奨励） 	3 3 2 3 3 2	<ul style="list-style-type: none"> いじめやトラブルの兆候を見つけた際は速やかに情報共有をし、学年集会を開くなど速やかに対応することができている。携帯電話・SNSの使い方についての指導は引き続き行っていくとともに、現在燃えている問題にも早期に対応していく。 服装の乱れもあまり見られず、注意すればすぐに直してくれる状態にあり、朝の玄関指導やHRを通じてこまめに指導を行うことができている。男女関係で注意が必要な生徒が徐々に始まってきているため、学年間の情報共有を密にして一丸となって指導に当たっていく。 ボランティア・学外学習への参加率は例年に比べ低い。部活動がオフになる冬の期間を活かして積極的に参加するよう、働きかけを強めていく。また、呼びかけだけでは参加に至らない生徒が多いため、個別に声かけをするなど、生徒の希望進路に合わせた働きかけを行う。 授業交換や課題の連絡などを、教室掲示するのではなく、手帳にその場で書かせる指導が浸透してきており、手帳を使うことの習慣化はできている。今後さらに一歩進んだ活用として、学習計画や進路目標達成のためのスケジュール管理などにも活用できるよう指導を進める。 朝読書の取り組み、週一回のコラム書写ともに取り組みは良好である。担任団がコラム書写の課題に粘り強く取り組ませてくれており、提出状況も良好である。今後はただの作業としての取り組みにならないよう、考えさせる機会も与えながら継続的に取り組んでいく。 ボランティアや資格取得などにもっと積極的に取り組むよう働きかけを強める必要がある。奨励するだけに止まらず、何のために参加するのか意義を理解させ、意識を変える働きかけをしていく。日々の学習への取り組みも含め、目標に向け努力する姿勢を養っていく。
2学年	1 安心できる学習環境の整備と向上 2 クラス・学年のチームの再構築 3 生徒それぞれに寄り添う指導体制の確立	<p><生徒指導></p> <ol style="list-style-type: none"> いじめ防止の徹底（兆候の発見、携帯電話・SNS等の使用の適切な指導、起こった際の早期対応）。 服装・容儀および生活習慣の指導（朝の挨拶・玄関指導、家庭との連絡・連携を密にした生徒をとりまく環境の把握）。 人権意識・協働能力・問題解決能力の育成（特別活動・ボランティアなどの奨励） <p><学習・進路指導></p> <ol style="list-style-type: none"> 基本的学習習慣の確立（手帳の活用や学期2回の2者面談などを通し、生徒個々の中期的な見通しの確立、基礎学力の確立に向けた講習の活用、英検上級取得へ） 「読解力」の基礎作り（朝読書・新聞コラム読解の実施） 未来が求める人材像への対応、正解のない問いへの対応（新しい学力観への対応、学外学習・ボランティア活動への参加奨励、各種資格取得への奨励） 進路検討会を実施し、生徒個々に対する指導を教員全体で行う。 	3 3	<ul style="list-style-type: none"> 友人関係や他学年とのトラブルが出てきており、担任や養護教諭、他学年と連絡を取り合って迅速に対応している。SNSの利用は個人的な利用を目的として気軽に考えているが、公への情報公開に結びつくことが分かっているため、引き続き継続的な注意喚起を行う。 朝の玄関指導や昼の巡回指導など、生徒の把握に留意している。生徒の発するサインにアンテナを張り、家庭との連携によく努めている。 ボランティアや学外活動には自分の将来を考え、積極的に参加している。共に学校生活を送ってきて、生徒同士お互いどのような人柄か理解が進むなか、個人的感情を優先し、協働性や周囲への配慮に欠ける言動を取る生徒が一部おり、継続的指導が必要である。 二者面談を通し、目標の設定や学習指導は行われている。しかし、英検の上級取得や放課後講習への参加の数をみると、成果が表れていない。また、手帳の活用には引き続き指導が必要である。 毎週水曜日実施の水曜コラムへの取り組みは概ね良好である。今後もコラムの内容は吟味し提供していく。 学校事業としての活動に対して、よい取り組みを見せるが、校外の各種活動になると、途端に参加に二の足を踏んでしまう生徒もいる。今後、探究活動を通して、校外の人たちとの関わりを促したい。英語検定や漢字検定などは残された機会が今年度は1度しかないため、積極的な受験を促す。 三者面談の意向を踏まえ、受験方法や進路志望校の検討に入る。
3学年	1. 基礎学力の定着と伸長サポート 2. 基本的な生活習慣の確立 3. 進路実現・キャリアサポート	<p><生徒指導> ○朝の玄関指導、昼の巡回指導 ○学年集会の定期的実施（月に1回を目標） ○学年間、生徒指導部との情報共有 ○生徒指導としての清書意識</p> <p><学習指導> ○朝読書の時間には、きちんと本を読ませる ○水曜コラムをきちんと提出させる ○進路係教員は1～2週間に1回はミーティングを行い、授業の状況や発表結果を踏まえて指導を実施する</p> <p><進路指導> ○各種進路相談会やオープンキャンパス参加を推奨。最新の入試情報の収集に努め、進路実現に向けてなすべき事を自覚させる ○学力上位置に関しては、進路指導部・コース・教科と連携して個別指導を実施する ○進路指導部と連携し、良質な情報は共に努める</p>	3 3 3	<ul style="list-style-type: none"> 他学年生徒とのトラブルあり。学年教員、生徒指導部との情報共有をしながら指導に当たることができた。 進路が決まった生徒の中で、生活に落ち着きが無い生徒が出ている。卒業に向けて指導を継続する。年度末に取組度を向上させたい。 進路係教員は、ほぼ毎日教員間で情報共有を行い、指導に反映させている。年度末に取組度を向上させたい。 具体的な取組事項については全て実施している。年度末に取組度を向上させるために結果を出したい。

令和7年度学校評価・学年の中間報告について

(学校評価委員会事務局・令和7年11月21日)

*取組度：4（よく取り組んでいる 80%以上） 3（ほぼ取り組んでいる 50～79%） 2（あまり取り組んでいない 20～49%） 1（取り組んでいない 19%以下）

担当	今年度の重点目標 (今年度の指導の重点達成のため、学年で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の重点目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点 ・ 今後改善すべき点
附属中 1学年	<ul style="list-style-type: none"> 授業を大切に、積極的に取り組む。 自主学習ノートに取り組み、学習の習慣化を図る。 生活の心構えとして「清掃・挨拶・5分前行動」を徹底させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 全員が毎日責任を持って清掃を行い、学習環境の整備を行う。 検定の取得に励み、取得目標を達成できるようにする。 各行事の様子や今後の予定を保護者会やBLEND等で伝える。 	3	<p>〔評価できる点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主学習については、2学期より指導を強化した結果、ほとんどの生徒が毎日取り組むようになった。検定の取得については、特に英語検定を積極的に取り組む生徒が増え、英検3級合格者も出ているので、引き続き声かけをしていきたい。 体育祭の様子をBLENDで発信したほか、保護者会にてクラスの様子を伝えることができた。また、個別に必要と思われる情報や連絡事項も保護者へ発信することができた。 <p>〔改善すべき点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃活動においては、取り組みに個人差がみられるため、個々への指導を継続していく。 気になる生徒への声かけはできたが、全員との二者面談の回数が少なかったため、時間をつくり回数を増やしたい。 <p>〔総評〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ほとんどの生徒は入学時よりも落ち着いて学校生活を送ることができており、授業への取り組みにも積極性がみられる。 様々な探究活動への取り組みをさらに深め、学びの方向性を考える機会を増やしたい。
附属中 2学年	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習を徹底するために定期的な二者面談を行い、学習への取り組みを確認する。 身の回りの整理整頓や挨拶を大切に、自己管理ができるようにする。 行事や学外学習では、中堅学年として他学年をしっかりサポートできるようにする。 探究活動や学外学習を積極的に行い、自身の興味関心を深めさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 全員参加型の清掃活動を毎日継続し、整理整頓をおこなう。 行事や探究活動での振り返りを行い、興味関心があることを確認する。 個人面談で学習面・生活面の状況を確認し、教員間での情報共有を徹底する。 行事での活躍や連絡事項は、BLENDや保護者会で伝える。 	3	<p>〔評価できる点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃活動において、各自が責任を持って作業に取り組むことができ、教室をきれいに保つことができています。 探究活動に積極的に参加する生徒が増えてきており、将来へ向けての興味、関心を持つ生徒が増えてきている。 授業態度などで気になる生徒に対しては、教員間で情報共有をして、連携して指導することができた。 <p>〔改善すべき点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 気になる生徒との個人面談はできたが、全員との面談は少なかったため、今後は計画的に実施したい。 生徒によって家庭学習の取り組みに差がでてきているため、ホームルームにて自主学習の計画をさせたい。 <p>〔総評〕</p> <p>1年次に比べて落ち着いて生活することができる生徒が増えてきている。特に女子に関しては、定期考査や学習に対する気持ちを強く持ち、取り組むことができるようになってきている。クラス全体としては、まだまだ進路に対する気持ちが弱い生徒もいるため、今後も二者面談を継続し、進路に対して考える機会を増やしていくことが必要である。</p>
附属中 3学年	<p>○自分の将来を考え、進路を開拓できる人になる。 最高学年として後輩をリードし、信頼される人になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「中学校学力確認テスト」に向けて、自ら進んで学習に取り組めるよう声かけを行う。 基本的な生活習慣や授業の始まりと終わりの挨拶、来校者への元気な挨拶を習慣化させる。 将来の進路のために、どんな取り組みが必要かを考えさせ、積極的に活動するよう促す。 	<ol style="list-style-type: none"> 授業第一、学習タイム、講習、スタディサプリ、手帳の活用を行う。 研修旅行や校外学習の事前学習や本番でリーダーシップを発揮する。 定期的な二者面談と、夏休み及び必要に応じて保護者を交えた三者面談の実施する 	3	<p>〔評価できる点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 最高学年としてオリエンテーション合宿や附属中祭、第1回校外学習などの行事において、しっかりと準備をして臨むことで後輩をリードしている場面が見られた。 BLENDを活用して生徒に配布したプリントを保護者へ伝えたり、研修旅行の様子を毎日投稿したりすることで、保護者への情報共有を行うことができた。 <p>〔改善すべき点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習への取り組みに課題を感じる生徒が一定数いる。家庭や学校の休み時間、放課後の時間の使い方など、引き続き声かけをして、学習習慣を身につけるよう指導していく必要がある。 個人の教材や私物の整理等が得意でない生徒もいるので、クラス全体が学習に集中できる環境作りに向け、声かけを行う。 <p>〔総評〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 附属中学校の最高学年としてリーダーシップを発揮するよう声かけをした結果、下級生だけでなく上級生ともうまくコミュニケーションをとることができていた。また国内研修旅行を通して、校風である「礼儀・礼節」を意識できるようになった。今後は高校へ進学するにあたり、生徒個々に応じた進路指導を充実させていきたい。

令和7年度学校評価・校務分掌の最終報告について

(学校評価委員会事務局・令和8年2月20日)

*取組度：4（よく取り組んでいる 80%以上） 3（ほぼ取り組んでいる 50～79%） 2（あまり取り組んでいない 20～49%） 1（取り組んでいない 19%以下）

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
教務部 (全日制)	(1) 新学習指導要領に基づき大学入試改革に対応するための授業改善に向けた研修と実践を推進する。 (2) コース及び附属中と連携し、進路や中高一貫教育に対応した教育課程や学校行事の充実を図る。	授業第一主義を実践する。開始と終了の時間を厳守する45分完全授業の実施。そのための工夫と徹底した教材研究に基づく授業を行うことの徹底を図る。またICTの活用をはじめ、生徒が主体的に学べる授業実践に向け、研修・研究を推進するとともに、授業評価アンケートや授業実施記録簿の活用、授業公開・互見授業を行い、授業力の向上の支援に努める。	4	年度初めのシラバス・評価計画の作成、学期末ごとの授業実施記録簿の作成、校内研修としての互見授業・授業公開の実施と校外団体主催の研修案内、授業アンケートの実施・取りまとめ、教育月刊誌の設置、ホームルーム教室へのプロジェクターの設置（附属中含む）・管理、タブレット型PCの管理（メンテナンス作業含む）など、授業改善をサポートする取り組みを全体への周知も含めて、概ね進めることができた。また教科会議・教科主任会議では各教科・科目での指導の状況、学年からの配慮を要する生徒の状況、長欠者を中心とする面談での確認事項など情報交換し、個別の対応や授業での工夫につなげている。今後も非常勤講師の先生方を含めて、生徒の状況を把握しながら、授業改善に努めていけるようサポートしていきたい。
		ルーブリックを作成・共有し、次年度からの活用に向けて生徒の学習をサポートする土台をつくる。	3	新学習指導要領改訂に伴い、これまで作成してきた評価規準・評価基準をもとに、パフォーマンス課題に活用できる課題ルーブリックの作成を全体に周知し、作成中である。思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度の過程も含めた評価として、次年度での活用につなげていきたい。
		コース委員と連携し、各コースの特色や実態に適合する教育課程や学校行事について研究を行う。	3	コース行事は充実しており、各コースの要望を踏まえ、年間行事予定表・月間行事予定表に反映してきた。年度途中でコースと教務部で連絡調整の必要性の検討も含めて、次年度の教育活動の充実を図っていきたい。
		昨年度導入した校務支援システムのもと、日課・表簿・消耗品・機器の適正な管理を行うとともに、校務処理業務の効率化を目指す。	3	校務支援システムの導入2年目ということで、多くの教職員が操作にも慣れ、より業務軽減を実感できる年になったのではないと思われる。昨年度の反省点を踏まえて、成績処理、表簿の作成・更新でのダブルチェック作業、年度途中でもあがってきた留意事項を全体に周知、入試でのWeb出願情報入力項目の改善などを行い、大きな問題なく進めてこられている。重要情報を管理していることから、学年をはじめとする情報元でのチェック作業の徹底を注意喚起し、何か問題が生じたときの報告・連絡・相談の体制も確認しながら業務の正確さを高めていきたい。
教務部 (通信)	(1) 地域社会に対して、「学びのセーフティネット」を提供するために安心・安全な学習環境を構築・維持する。 (2) 「基礎的な学び」と「進路に応じた学び」の積み重ねを図り、自立できる人材、進路達成に取り組む人材、社会に主体的に関わる人材の育成のための支援を行う。	(1)「学習管理システムの構築」 通信制の課程の学習活動を構成する面接指導、添削指導、学期末試験について、それぞれの状況が分かりやすい学習管理システムを構築する。	3	昨年度の学習活動を振り返り、通信制課程に通う生徒の多様な特性・学力等の実状に合わせ学習計画を作成した。具体的には教科担当者や相談し英語・数学の面接指導数を増やすことで、基礎学力の向上を図った。中学校の振り返り学習を行うことにより、生徒も安心して学習に臨んでいる。集団での活動が苦手な生徒については、別日および午後登校、別室での対応を提案し行った。次年度は校務支援ソフトとしてBLENDを計画しており、学習管理のシステム化を進めている。
		(2)「ICTを活用しての学習支援」 東京書籍のインターネット講座やリクルート社のスタディサブリを利用し、生徒一人一人に対して具体的な講座名を指示して、①振り返り学習の指導②学力の定着・向上のための指導を行う。	3	東京書籍のインターネット講座を利用して、転入学を含めた面接指導の欠席分を補完している。さらに、自主学習やレポート課題作成のための手段として促している。二者面談では、生徒自身の進路に合わせてスタディサブリの年間学習計画を基に、志望進路実現のための学習方法などのアドバイスを行っている。昨年度から実施している到達度テストと学期末試験の結果を基に授業担当者間でも情報共有して、個々の基礎学力向上のために2つの教材を併用しながら対応していきたい。
		(3)「入学者数の増加に取り組む」 今年度の生徒募集活動として、学校案内、ホームページ、個別相談会を用いながら、「二高通信制課程の具体的な特色」を発信する。活動の柱は、次の3つである。①学校案内の配布範囲の拡大 ②学校案内・ホームページの内容の充実 ③中学校教員に対する広報	3	生徒募集活動は昨年度より3ヶ月早めて行うことができた。①学校案内の配布範囲に関しては、昨年度より範囲を大幅に拡大させて八戸地区全中学生配布の他に上十三地区および岩手県北地域まで配布することができた。②学校案内は、本校の学びの特色の他に単位修得までの流れや教育活動の実施場所について、受験生がイメージしやすいように工夫して作成した。さらに今春卒業生からのメッセージを掲載した。③7月下旬から夏期休業中に各中学校訪問を行い、本校の取り組みの説明、学校案内の配布のお願いや個別相談会の案内などの広報活動を行った。来年度は高等学校への活動も行う予定を組み入れたい。
教務部 (附属中)	(1) 先取り教育とともに、すべての生徒に対する配慮を工夫し確かな学力を育む。	教育心理学の専門家を招聘しての校内研修会の実施、合同会議における生徒情報の共有を図り、学力の向上及び定着を図る。	3	合同会議を通じて、授業担当者と生徒情報の共有を図るとともに、立教大学大石先生を招いての研修会を通じて、それぞれのケースに応じた理解と支援の方法を学んだことで、生徒の特性に応じた授業展開が行える環境整備が進み、今年度から不登校状態に陥る生徒はなかった。先取り教育で、高校進学時にゆとりを持った進度設定ですすめている。総じて入学時から比較して学力をのばしている。今後は、高校進学時に本校の一貫コース進学に安定して結びつけるための方策作りが検討課題となる。
	(2) 学校生活や体験的な活動の中で、「礼儀・礼節」を実践し、社会性を育成する。	授業や学校行事、また社会に触れる活動を通して附属中生としての自覚を持たせ、校風を意識した生活を実践させる。	3	附属中祭のせんべい汁販売での接客や校外学習やグラウンドゴルフ大会、50周年記念式典など、校外で活動した場面では、普段の挨拶や立ち居振る舞いについて高い評価をいただく場面もあった。普段の活動時の挨拶に対する意識づけを高めていくことを今後も継続していきたい。
	(3) 将来の進路選択の参考になる機会を設け、目標を達成できるよう支援する。	体験的な学習行事、各種ボランティア活動を通して社会や本物にふれる機会を設け、主体性、独創性、向上心の育成に努める。	3	今年度も、校外学習、東京研修、国内研修や国内語学研修など多彩な活動をおこない、活動の成果をあげた。しかし、野外における校外活動時の安全性の確保や実施にかかる費用の高騰は、こうした活動の継続を難しくしている。実施による学習効果は大きいため、より安全で継続可能な校外活動、体験的活動の企画を進めていくことが課題となる。
	(4) 学校行事、特色教育、授業や生徒の様子などを発信し、開かれた学校を目指す。	保護者および地域にホームページ・インスタグラム・学校だよりを活用し生徒の活躍や学校行事・授業の様子などを伝える。	2	保護者への情報は毎月発行の「学校だより」で、学校行事や生徒の活躍のPRはホームページにて行っている。ホームページの掲載内容を現在の教育方針及び内容に合わせて更新する必要があるが、費用面等の問題もあり、現状は停滞している。学校説明会や講座に関しては、Google Formを活用した申込システムの採用で、受付作業と参加者データ処理の効率化をはかり、より小学生の興味を引き付けやすい募集活動の企画につなげている。

令和7年度学校評価・校務分掌の最終報告について

(学校評価委員会事務局・令和8年2月20日)

*取組度：4（よく取り組んでいる 80%以上） 3（ほぼ取り組んでいる 50～79%） 2（あまり取り組んでいない 20～49%） 1（取り組んでいない 19%以下）

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
総務部	(1) 募集ツールの作成及び生徒募集イベント・広報活動を主管し、入学者数の増加を図る。	広域募集活動の展開・各種制作物	3	募集活動については、春から部活動体験会で大幅増となったほか、体験入学参加人数が1061名と、昨年並みの応募状況(1081名)並みの数値を維持し、附属中学校との合同開催で中高一貫校の印象を強められたのではないかと。8月〇、10月に行われた学校説明会では、昨年の応募状況を上回る結果となった。8月(令和6年5組から令和7年22組、17組増)、10月(令和6年4組から令和7年7組、3組増)。年度当初HPやInstagramの強化を目標とし、Instagramに関しては各部活動のInstagramと連携したことは効果的であった。しかしながら、11月に行われる予定であった秋の授業体験会(学校周辺が冠水したため急遽中止)は前年度よりも応募数を減少させた(令和6年112名、令和7年91名、21名減)。来年度は名称を変更し、内容を再検討するなど効果的な募集につなげたい。
	(2) ボランティア活動や国際交流事業を推進し、生徒のキャリアアップを図る。	ボランティアなど	3	ボランティア活動については、全般的に数多くの生徒が積極的に参加する傾向がみられ、参加する生徒も当日欠席することなく集合し、元気に活動していた。総務部放課後ボランティアも日替わりで様々な生徒が時間をつくって業務のサポートをするなど、二高=ボランティアが定着してきたように思う。本校生徒の活動としてはもちろん、八戸の活性化にも貢献していくようにしたい。今後のボランティアや学外学習の内容も積極的にHPやInstagramに掲載し、外部への発信を継続していきたい。
進路指導部	(1) 体系的で効果的な進路指導体制を構築していく (2) 生徒へのキャリア教育を通して、社会的自立の基盤となる経験や能力を身につけさせる	進路実績の向上：生徒個々の希望進路実現のために様々な場面を通して、学力の向上を図る	3	定期的な外部模試の分析を各学年へ発信しており、各学年でも次の学習活動へのプログラム作りの参考となっている。生徒個々の希望に寄り添う取り組みになっていると思われる。放課後講座、夏・冬ゼミについても整備できた。
		キャリア教育の実践：ホームルーム、探究、放課後や長期休業中の学外学習、課外活動を通してより深い学びを支援する	3	総合的な探究の時間に関して、実施記録簿は各学年に作成を依頼済みだが、ルーブリックの作成はまだである。夏休みには2学年の就職希望者にインターンシップを実施した。学外学習等の案内はできているものの、活動履歴の蓄積が不十分のため、ホームルーム等の時間を活用し、BLENDへの入力時間を確保する必要がある。
		情報の発信と共有：3年間を通じた取り組み事項の整理とその内容を確認して、学習プログラム等の内容や配置を行う。また生徒や保護者へ進路に関わる情報を発信する	3	生徒には進学相談会や各種大学の学習行事に関する配信を定期的に行っている。保護者への情報発信については、必要な情報を受け取れるように配信内容・タイミングを考慮して行っていきたい。次年度に向けて、Handy 進路指導室(進学版)を導入したので、指定校に関する情報提供の工夫を図りたい。
		八戸工業大学との連携内容の充実：体験講義、公開講座、研究室訪問、高大連携講座など様々な場面を通して、生徒の学びを支援する	3	今年度は、1学年全員でサマーサイエンスプログラム、体験講義に参加した。また、カーボンニュートラル入門への参加など連携した活動が定着している。年度当初計画していたものはすべて終了するか、あるいは現時点で順調に行われている。

令和7年度学校評価・校務分掌の最終報告について

(学校評価委員会事務局・令和8年2月20日)

*取組度：4（よく取り組んでいる 80%以上） 3（ほぼ取り組んでいる 50～79%） 2（あまり取り組んでいない 20～49%） 1（取り組んでいない 19%以下）

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
生徒指導部	(1) 生徒の基本的生活習慣の確立を図り、安心・安全な学校の環境づくりを行う。また、有事の際には生徒の命を守り、安全を確保できる体制を構築する。 (2) 生徒会活動および部活動の活性化を推進する。 (3) 生徒の精神的・身体的健康の保持増進を図るとともに、怪我・事故発生時に迅速な対応をとる。 (4) 清潔で健康的な学校環境を常時整備する。 (5) 特別支援教育のスキルを向上させ、適切な指導と支援を行う。	安心・安全な学校環境づくりと基本的生活習慣の確立	3	「いじめ防止計画」に基づいて「いじめ防止教育」を実施するなど、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を進めた結果、今年度のいじめ認知件数は1件となった。年々、人間関係で悩んだり、HSP という非常に繊細な生徒が増えているが、今後も担任だけでなく抱え込まず、学年や学校全体で問題を共有し、解決に向けて取り組んでいきたい。また、朝の登校指導や担任を中心とした日々の指導により、生徒の服装容姿は概ね良好であり、多くの生徒の基本的生活習慣は確立されていた。全国的に高校生の SNS に関するトラブルが増えているが「情報モラル教育」を徹底し、生徒の規範意識を高めていきたい。今後は、文部科学省が示す「生徒が主体的に校則を見直す取り組み」の推進にも努めていきたい。
		有事対応の危機管理対策	3	避難訓練を年2回実施し、当初の予定どおりに行うことができた。第1回は校舎内の火災を想定し、第2回は地震発生を想定した実践的な内容とした。両訓練は、それぞれ異なる避難行動が求められるものであったが、教職員・生徒ともに迅速かつ冷静に行動し、円滑に避難を完了することができた。続出するクマの出没に対しては、生徒への注意喚起を行うとともに、危機管理マニュアルに大型野生獣出沒対応を追加した。
		生徒会活動の活性化および部活動の推進	3	生徒会行事については、概ね計画どおりに進めることができた。文化祭では、生徒・教職員はもちろん、卒業生や保護者の協力もあり、過去最多の来場者数を記録し、大きなトラブルもなく無事に終了した。スポーツ大会では、競技中の事故で搬送された生徒もいたが、迅速に対応することができた。今年度の反省をいかし、来年度はさらに充実した行事となるよう経費を生かしていきたい。部活動においては、一昨年度から始めた部活動体験を3年連続で実施した結果、去年より多い130人の中学生が参加してくれた。野球は、個人戦では男子テニス部が念願の優勝を果たしてインターハイへ出場、団体戦では女子テニス部が準優勝で東北大会に出場した。また、新人戦では女子サッカー部が準優勝を収めた。
		精神的・身体的保持増進および怪我・事故発生時の対応	3	学校医と連絡を密に取り合い、各種検査を無事に終えることができた。教育相談については、様々な理由でアドバンスルームを利用する生徒が多く、宮崎先生に定期的にカウンセリングをしていただいた。また、友人との関係がうまく築けない生徒も増加傾向にあるが、担任や学年と連携し、情報を共有しながら生徒へ対応することができた。昨年度から始めた「アドバンスルーム監督制度」を今年度も継続したが、監督者ファイルをリレー形式にすることで、教員の足がアドバンスルームへ向きやすくなっているなど、全教員でアドバンス生をサポートする体制を構築することができた。心肺蘇生法講習会は、7月に教員と一部生徒を対象に実施した。来年度は運動部の生徒を中心に行う予定である。
		健康的な環境の整備や特別支援教育へのスキルアップ向上および支援計画作成	3	『保健だより』は保健委員会の生徒と毎月作成し、BLEND にて配信を行った。体育祭の前には『熱中症対策号』を追加で配信して注意を呼びかけ、冬季には『インフルエンザ予防特別号』を発行した。感染症対策としては、保健委員を中心に消毒液の補充などを着実に実施し、冬季には毎時間の換気呼びかけの結果、大規模な流行を防ぐことができた。保健室利用の多い生徒や家庭の事情で配慮が必要な生徒については、毎月の職員会議を通して情報共有を図った。また、QU テストを実施し、配慮が必要な生徒の把握に努め、学年内で共有することができた。
渉外部	学校内外の関係組織との連携を維持・強化することで、PTA 活動の活性化及び学校教育活動の充実化を図る。特に、PTA、後援会、同窓会、PTA・OB会からの協賛を創立五十周年記念事業に収斂させ、スクールポリシーの実現と、生徒目線の未来を見通した教育活動の基礎をつくる。	PTA 活動の積極的な企画、運営。	4	PTA 総会及び第1回PTA委員会を、PTA 会長はじめ関係するPTA役員の方々、学年と連絡を取り合いながら滞りなく進めることができた。体育祭は保護者の参観を実施し、登校時一声運動も第1回目を実施した。二高祭では、母親研修委員を始め多くのPTA委員の方々の協力を得て、ハザーとカフェを実施し盛況であった。対外的には、私学助成署名活動を行い、私学振興大会/戸大会ではホスト地区として実施に協力した。県高P連関連では、東北高P連東北大会仙台大会、全国高P連三重大会に参加してPTA活動に関する知見を得た。
		後援会及び同窓会、PTA・OB会との連携。	3	後援会については、総会を実施して創立五十周年記念事業への協力をいただいた。同窓会からも、納涼会や協賛金等において記念事業への協力をいただいた。PTA・OB会については、役員会と総会・懇親会を実施し、創立五十周年記念事業への協力もいただいた。
		創立五十周年記念事業（令和7年度）の計画及組織構築と、学校外の組織との連携。	4	総会・役員会を数次開催するとともに、協賛会の役員・委員・教職員の協力をいただき、令和7年10月4日（土）、創立五十周年記念式典・記念講演・祝賀会を挙げる事ができた。式後は、寄付者への記念誌発送業務、図書館の利用体制の構築、決算、財務委員会、監査会を実施し、最後に解散会を開いて本事業を終えた。
		ユネスコスクール認定のための準備、年次活動の把握、ESD（持続可能な開発のための教育）の振興。	3	令和7年4月3日付でユネスコ本部から「ユネスコスクール」として正式認定を受けた。認定後の教育目標・理念の検討、組織の再編成については、今後の課題として残された。関連内容として「第16期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」（公益社団法人日本ユネスコ協会連盟）、仙台城南高等学校主催WWLコンソーシアム構築支援事業「事業連携校」、「サマーエクスチェンジ」（青森県ユネスコスクール連絡協議会主催）などを行った。
事務部	(1) 学校の第一印象である、窓口及び電話対応での親切丁寧及び的確な業務の励行 (2) 事務職員の資質向上を図る	言葉遣い、身なり等基本的な接客マナーに留意し、笑顔での対応を心掛ける	3	電話・来客対応の基本マナーを理解したうえで、状況に応じた気配りを心掛けてきた。また、様々な問い合わせを担当部署に振り分けたり、担当者離席中の際には用件を聞いたりするなど、迅速かつ丁寧な対応で業務を進めることができるよう、今後も努めていきたい。
		事務職員の資質向上を図る	3	コミュニケーション能力、事務処理能力、情報処理能力、問題解決能力、法令遵守の向上を意識しながら、業務に当たっている。日頃より事務室内で処理する業務内容は、全員で情報共有し、担当者が不在でも対応できる体制を整えてきた。また複数人でのチェック作業を心掛け、正確な業務につなげていきたい。

令和7年度学校評価・学年の最終報告について

(学校評価委員会事務局・令和8年2月20日)

*取組度：4 (よく取り組んでいる 80%以上) 3 (ほぼ取り組んでいる 50～79%) 2 (あまり取り組んでいない 20～49%) 1 (取り組んでいない 19%以下)

担当	今年度の重点目標 (今年度の指導の重点達成のため、学年で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の重点目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
1学年	1 安心できる学習環境の整備と向上 2 クラス・学年のチームの構築 3 生徒それぞれに寄り添う指導体制の確立	<p><生徒指導></p> <ol style="list-style-type: none"> いじめ防止の徹底 (兆候の発見、携帯電話・SNS等の使用の適切な指導、起こった際の早期対応)。 服装・容儀および生活習慣の指導 (朝の挨拶・玄関指導、課程との連絡・連携を密にした生徒をとりまく環境の把握)。 人権意識・協働能力・問題解決能力の育成 (部活動・特別活動・ボランティアなどの奨励) <p><学習・進路指導></p> <ol style="list-style-type: none"> 基本的学習習慣の確立 (手帳の活用や学期2回の二者面談などを通し、生徒個々の中期的な見通しの確立、基礎学力の確立に向けた講習の活用) 「読解力」の基礎作り (朝読書・新聞コラム書写・読解の実施) 未来が求める人材像への対応、正解のない問いへの対応 (新しい学力観への対応、学外学習・ボランティア活動への参加奨励、各種資格取得への奨励) 	3	<ul style="list-style-type: none"> いじめやトラブルの兆候を見つけた際には速やかに情報共有をし、学年集会を開くなど速やかに対応することができた。 服装の乱れは少なく、朝の玄関指導や職員室入室時に声をかけ意識付けをすることが出来た。生徒たちも素直に指導に応じてくれる状態であり、落ち着いた状態を保っている。頭髪や女子の化粧等には引き続き指導が必要であるため、次学年に向け課題意識を持って指導に当たって行きたい。 ボランティア・学外学習へ参加を呼びかけてきたが、参加率は低いままに止まった点は次年度に向けての課題である。部活をやめてしまった生徒も少なからずいた。次年度はより生徒個々の進路に即した活動への参加を促していきたい。 <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 一年をかけて手帳を使う習慣は定着してきたと感じる。今後も継続し、自己の課題や活動の管理能力を高めると共に、自己の振り返りにも活用できるよう指導していく。二者面談は計画的に実施し、生徒個々の問題や希望進路の把握などを進めることが出来た。一貫・進学コースを中心に講習への取り組みも良好であった。 朝読書の取り組み、週一回のコラム書写ともに取り組みは良好である。読解力にはまだ結びついていないが、その基礎としての集中力や授業の際の机離れ力等も培われていると感じる。次年度も継続していきつつ、さらに内容を検討し読解力の向上に結びつけていきたい。 学年全体として、授業を中心に学習に向かう姿勢は良好であると感じる。次年度はさらに進路に対する意識を高めていくことで、学外学習やボランティア、検定取得などにも意欲的に取り組んでいくよう指導していきたい。
2学年	1 安心できる学習環境の整備と向上 2 クラス・学年のチームの再構築 3 生徒それぞれに寄り添う指導体制の確立	<p><生徒指導></p> <ol style="list-style-type: none"> いじめ防止の徹底 (兆候の発見、携帯電話・SNS等の使用の適切な指導、起こった際の早期対応)。 服装・容儀および生活習慣の指導 (朝の挨拶・玄関指導、家庭との連絡・連携を密にした生徒をとりまく環境の把握)。 人権意識・協働能力・問題解決能力の育成 (特別活動・ボランティアなどの奨励) <p><学習・進路指導></p> <ol style="list-style-type: none"> 基本的学習習慣の確立 (手帳の活用や学期2回の二者面談などを通し、生徒個々の中期的な見通しの確立、基礎学力の確立に向けた講習の活用、英検上級取得へ) 「読解力」の基礎作り (朝読書・新聞コラム読解の実施) 未来が求める人材像への対応、正解のない問いへの対応 (新しい学力観への対応、学外学習・ボランティア活動への参加奨励、各種資格取得への奨励) 進路検討会を実施し、生徒個々に対する指導を教員全体で共有する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 友人関係や他学年とのトラブルが数件あったが、担任や養護教諭、他学年と連絡を取り合って迅速に対応してきた。SNSの利用は個人的な利用を目的として気軽に考えているが、公への情報公開に結びつくことが分かっておらず、引き続き継続的な注意喚起を行う。 朝の玄関指導や昼の巡回指導など、生徒の把握によく努めた。また、生徒の発するサインにアンテナを張り、気になることなど、家庭との連携によく努めた。一方、教員間の連携が取れていない場面もあり、指導の一貫性が欠けることもあった。 ボランティアや学外活動には自分の将来を考え、積極的に参加している。生徒は友人と共に学校生活を送ってきて、お互いどのような人柄か理解が進むなか、個人的感情を優先し、協働生や周囲への配慮に欠ける言動を取る生徒が出てきた。そのような生徒の言動に今後も注意し、学校生活を生徒が安心して過ごせるようサポートしていく。 <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 二者面談を通し、目標の設定や学習指導は行われている。しかし、行動に結び付かないことも多く、駆け込み的に英検を受験するなども起きている。 朝読書への取り組み向上のために、巡回もしてきた。一部、取り組みの良くない生徒も見られる。毎週水曜日実施の水曜コラムへの取り組みは概ね良好である。3学年1学期も継続し、読解力向上また、記述力の向上を図り、入試に繋げたい。 学校を通しての活動に対して、よい取り組みを見せた。今後、個人の進路や探究活動を通して、校外の人たちとの関わりを増やしキャリアアップをし、受験に備えさせたい。また、残された検定の機会は3年生ではほとんどが1回となるため、積極的な受検を促す。 より適切な進路選択をし、受験に臨ませたい。今後は2・3月で志望理由を書かせ、受験生としての自覚を高めていく。
3学年	1. 基礎学力の定着と伸長サポート 2. 基本的な生活習慣の確立 3. 進路実現・キャリアサポート	<p><生徒指導> 〇朝の玄関指導、昼の巡回指導 〇学年集会の定期的実施 (月に1回を目標) 〇学年間、生徒指導部との情報共有 〇生徒指導としての青森認識</p> <p><学習指導> 〇朝読書の時間には、きちんと本を読ませる 〇水曜コラムをきちんと提出させる 〇進路係教員は1～2週間に1回はミーティングを行い、授業の状況や発表結果を踏まえて指導を実施する</p> <p><進路指導> 〇各種進路相談会やオープンキャンパス参加を推奨。最新の入試情報の収集に努め、進路実現に向けてなすべき事を自覚させる 〇学力上位層に関しては、進路指導部・コース・教科と連携して個別指導を実施する 〇進路指導部と連携し、良質な情報は共に努める</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 他学年生徒とのトラブルあり。学年教員、生徒指導部との情報共有をしながら指導に当たることができた。 生徒達は50周年記念式典において最上級生らしく振る舞うことができるように成長した。 特性が疑われたり、精神科への通院が必要な生徒が複数いる中で、担任はメンタル不調に陥ることなく指導を継続できた。 <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路係教員は、ほぼ毎日教員間で情報共有を行い、指導に反映させた。 成績上位者に対する一般受験指導を計画的に進めている。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な取組事項については全て実施している。 全コースから国公立大学合格者を出している。 年度初め学年経営案で掲げた、旧帝大合格と八戸工業大学への目標進学者数を上回ることができた。 共通テスト Web 出願の初年度をトラブルなく乗り切ることができた。

令和7年度学校評価・学年の最終報告について

(学校評価委員会事務局・令和8年2月20日)

*取組度：4（よく取り組んでいる 80%以上） 3（ほぼ取り組んでいる 50～79%） 2（あまり取り組んでいない 20～49%） 1（取り組んでいない 19%以下）

担当	今年度の重点目標 (今年度の指導の重点達成のため、学年で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の重点目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点 ・ 今後改善すべき点
附属中 1学年	<ul style="list-style-type: none"> 授業を大切に、積極的に取り組む。 自主学習ノートに取り組む、学習の習慣化を図る。 生活の心構えとして「清掃・挨拶・5分前行動」を徹底させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 全員が毎日責任を持って清掃を行い、学習環境の整備を行う。 検定の取得に励み、取得目標を達成できるようにする。 各行事の様子や今後の予定を保護者会やBLEND等で伝える。 	3	<p>〔評価できる点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主学習については、3学期より指導を強化した結果、全員が取り組むようになった。検定の取得については、特に英語検定を積極的に取り組む生徒が増え、目標とする級を合格できている生徒が増えた。 学校行事や英語研修の様子をBLENDで発信したほか、保護者会にてクラスの様子を伝えることができた。また、個別に連絡が必要と思われる保護者に対しても、BLENDの個別連絡を用いて情報や連絡事項を発信することができた。 <p>〔改善すべき点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃活動においては、作業が苦手な生徒がいるので、個別に指導を継続していきたい。 生徒との二者面談の回数が少なかった。入学当初に比べるとクラスは安定しているが、時間を作って学習状況や悩みなどを聞くようにしたい。 <p>〔総評〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校時代に不登校傾向だった生徒が数名いるが、ほとんどの生徒が安定して登校できている。授業への取り組みにも積極性がみられるので、今後も授業担当者との連携をとり、声かけを継続したい。 2学期以降、探究活動や研修への取り組みを積極的に進める生徒が増えたので、学びの方向性を考える機会を増やしたい。
附属中 2学年	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習を徹底するために定期的な二者面談を行い、学習への取り組みを確認する。 身の回りの整理整頓や挨拶を大切に、自己管理ができるようにする。 行事や学外学習では、中堅学年として他学年をしっかりサポートできるようにする。 探究活動や学外学習を積極的に進め、自身の興味関心を深めさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 全員参加型の清掃活動を毎日継続し、整理整頓をおこなう。 行事や探究活動での振り返りを行い、興味関心があることを確認する。 個人面談で学習面・生活面の状況を確認し、教員間での情報共有を徹底する。 行事での活躍や連絡事項は、BLENDや保護者会で伝える。 	3	<p>〔評価できる点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃活動において、各自が責任を持って作業に取り組むことができ、教室をきれいに保つことができている。 探究活動に積極的に参加する生徒が増えてきており、将来に向けての興味、関心を持つ生徒が増えてきている。 気になる生徒に対しては、声掛けや指導を継続して行ったことで、落ち着いて行動することができるようになった。 中堅学年として一貫コース合宿やゴルフ大会の際には、3年生をフォローし、1年生に声かけをする姿が見られた。 <p>〔改善すべき点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> スタサプの使用状況に課題がある。予習・復習や面談の資料としても来年度は活用していきたい。 生徒によって家庭学習の取り組みに差がでてきている。将来を見据えた面談を実施し、クラス全体として学習に向かう体制を整えることが求められる。 <p>〔総評〕</p> <p>2学期頃と比べて落ち着いて生活することができる生徒が増えてきている。特に女子に関しては、定期考査や学習に対する意識を強く持ち、取り組むことができるようになってきた。また、将来を意識した資格の取得などにも積極的に取り組む生徒も出てきたため、今後もそれらの生徒を励ましつつ、クラス全体へも先を見据えた行動ができるよう声かけをしていきたい。</p>
附属中 3学年	<p>○自分の将来を考え、進路を開拓できる人になる。 最高学年として後輩をリードし、信頼される人になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「中学校学力確認テスト」に向けて、自ら進んで学習に取り組めるよう声かけを行う。 基本的な生活習慣や授業の始まりと終わりの挨拶、来校者への元気な挨拶を習慣化させる。 将来の進路のために、どんな取り組みが必要かを考えさせ、積極的に活動するよう促す。 	<ol style="list-style-type: none"> 授業第一、学習タイム、講習、スタディーサブリ、手帳の活用を行う。 研修旅行や校外学習の事前学習や本番でリーダーシップを発揮する。 定期的な二者面談と、夏休み及び必要に応じて保護者を交えた三者面談の実施する。 	3	<p>〔評価できる点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 最高学年として一貫コース合宿や附属中祭、第1回校外学習などの行事において、しっかりと準備をして臨むことで後輩をリードしている場面が見られた。 BLENDを活用して生徒に配布したプリントを保護者へ伝えたり、研修旅行の様子を毎日投稿したりすることで、保護者への情報共有を行うことができた。 個人の教材や私物の整理が行えるようになり、クラス全体が学習に集中できる環境となった。 <p>〔改善すべき点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習への取り組みに課題を感じる生徒に対し、時間の使い方などに関して声かけを継続したところ、学習にスタディーサブリを利用する生徒もみられた。結果、学習に課題を感じる生徒の割合は減少したが、クラス全員が改善出来なかった。 <p>〔総評〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 附属中学校の最高学年としてリーダーシップを発揮するよう声かけをした結果、下級生だけでなく上級生ともうまくコミュニケーションをとることができていた。また国内研修旅行を通して、校風である「礼儀・礼節」を意識できるようになった。第二高校へ進学する生徒に対して、先取り学習期間終了まで生徒個々に応じた進路指導を今後も充実させていきたい。

令和7年度学校評価・学校関係者評価委員からの評価について

(学校評価委員会事務局・令和8年3月12日)

*評価：4 (よく達成されている 80%以上) 3 (ほぼ達成されている 50~79%) 2 (あまり達成されていない 20~49%) 1 (達成されていない 19%以下)

担当	評価平均	学校関係者評価委員からの評価・意見・要望等	担当	評価平均	学校関係者評価委員からの評価・意見・要望等
教務部 (全日制)	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 校務支援システムのさらなる推進に期待したい。 配慮を要する生徒・長欠者について、個々ではなく全体で情報共有して対処している点が評価できる。 校務支援システムが適切に運用されていることが評価できる。授業改善に向けた研修などについて、非常勤講師の先生方も含め、改善を進めていただきたい。 	進路指導部	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 概ね目標を達成していることがすばらしい。 模試分析の結果や進路相談会情報の発信など様々な取り組みが定着してきていることが評価できる。 Handy 進路指導室とはどのようなものか興味がある。 高2の夏休みでのインターンシップは有意義ですばらしい。継続していただきたい。
教務部 (通信制)	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 別日や別室、ICTの活用など柔軟な授業の実施が評価できる。その分、教職員の負担も大きいと思われるため、学修管理システムの構築などで負担軽減も進めていただきたい。 全日制との兼ね合いを大切に、共通理解のもとに充実を図ってほしい。 県立高校入試での定員割れが生じている一方で、高校通信制への入学者が年々増加（全国的にも）しており、その対策として要員計画を含めて推進して欲しい。 	生徒指導部	3.0	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止対策（情報収集、把握方法、アンケート、フレンドの意見箱）、情報モラル教育の充実を進めていただきたい。 担任だけで抱え込まず、学年や学校全体で問題を共有できる仕組みはとても評価できる。なお、服装注意の基準が人によって異なるとのアンケート結果もある。不公平とならないように改善していただきたい。 生徒への声掛けや教師間で連絡を密にすることなどがよくされている。教育相談の「アドバンスルーム監督制度」は情報の共有化としてすばらしい。
教務部 (附属中)	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 将来の進路選択のため、卒業生の大学生、社会人の講演（高校生と合同）、探究課題授業の実施を検討していただきたい。 限られた条件の中でも、将来の進路選択につながる校外学習等、体験活動の実施に期待したい。 立教大学教授大石先生の招致は、特別支援を必要とする生徒の理解には必要なので、校内研修全体でもこのような内容のお話から学んでほしい。 校外での活動はよい経験となると思われるため、費用等を工夫して是非継続していただきたい。またホームページは重要な情報源のため、できるだけ早めに更新を行っていただきたい。 	渉外部	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 創立50周年記念事業、ユネスコスクールの正式認定、おめでとうございます。 創立50周年記念式典などの実施、お疲れ様でした。またユネスコスクールの有意義な実施に期待します。 創立50周年記念事業、大変お疲れ様でした。
総務部	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやSNSを用いた広報により、応募者増への効果が出ていることが評価できる。またボランティア活動が積極的に行われている様子がうかがえる。 広域募集、広報活動でのマスメディアの積極的活用を進めていただきたい（デーリー東北、東奥日報、NHK等放送局、高校・通信制・附属中一体で）。 ボランティアは地域活性化貢献が大きく、継続的に実施してほしい。 ハラスメント講習会、トイレ改修（和式→様式）を要望します。 「二高＝ボランティア活動」というイメージが広がっていることはすばらしい。八戸ロータリークラブに所属しているが、インターアクトクラブの生徒をはじめ、さらにボランティア活動を広げられればと思う。 	事務部	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制（チェック）の確立を進めていただきたい。 業務内容の共有や複数人でのチェックなどが評価できる。今後も継続していただきたい。 学校の顔であり、窓口としての電話・来客対応と気苦労も多いでしょうが、素晴らしいと思います。

令和7年度学校評価・学校関係者評価委員からの評価について

(学校評価委員会事務局・令和8年3月12日)

*評価：4 (よく達成されている 80%以上) 3 (ほぼ達成されている 50~79%) 2 (あまり達成されていない 20~49%) 1 (達成されていない 19%以下)

担当	評価平均	学校関係者評価委員からの評価・意見・要望等	担当	評価平均	学校関係者評価委員からの評価・意見・要望等
高校 1学年	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒からのトイレ改修の要望を実現していただきたい。 美術コースと他クラスとの交流機会の増加を検討していただきたい。 生徒指導と学習指導は表裏一体であるが、落ち着いた状況にあるとの最終報告があり、次年度への期待が高まる。 いじめやトラブル等に対する対応ができており、評価できる。ボランティアや学外学習、部活動への参加率が低いとのこと。勉学以外から学ぶことも多いと思われるため、引き続き指導していただきたい。 	附属中 1学年	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの生徒が安定して登校できていることはすばらしい。 是非、二者面談の回数を増やして相互理解を図ってほしい。 授業担当者と連携した声掛けや BLEND を用いた情報共有を有効活用し、安定したクラスが運用できていることが評価できる。
高校 2学年	3.0	<ul style="list-style-type: none"> SNSの利用や生徒間のトラブルなど、難しい面も多いと思われるが、引き続き尽力していただきたい。 最終報告から、きめ細やかな指導にもかかわらず、乱す生徒もいて苦労がしのばれる。最終学年に向け、落ち着いた学習環境となるよう願います。 いじめ情報収集把握の複数の方法を確立してほしい。 	附属中 2学年	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 将来を意識した取り組みができていようなので引き続き指導していただきたい。 家庭学習での取り組みで差が出てきている場合、早めの対応を検討してほしい。 最終報告から中堅学年としての良い自覚が育っていることが伝わってくる。
高校 3学年	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 授業で理解できない事項の対応を充実してほしい。 トラブルもあるようだが、ほぼ毎日情報共有を行うなどにより、指導できていることが評価できる。目標進学者数も達成できているとのことなので継続していただきたい。 進路指導についてはよくされていると思います。 	附属中 3学年	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 地震に関する3年間の研修の新聞記事を読んだが、こうした身近なテーマを深化させる活動は生徒が将来を考え、自分たちも誇りに思えるものであると思う。 BLENDによる保護者への情報共有が行われていることが評価できる。情報が共有されることで、分からないことに起因する不満も解消されると思われる。 中学課程の十分な理解達成を目指してほしい。 将来の進路を見据えた高校進学のための学習を充実させてほしい。

総評	<ul style="list-style-type: none"> 各先生方からのお話を聞いていて、ヒューマンエラーがあるという話があったが、どこにでもある話で、チェック体制をしっかりやってもらえればよい。今日の業務でやるべきことについて、担当がではなくみんなで情報の共有をしてくれればと思う。 トイレについて和式が怖い人もいるので、お金がかかって大変だろうけども、新しくしたらい。 (回答) トイレの改修は年度の予算の関係で厳しい。コンピューター室、暖房なども優先しなくてはならなくて、トイレの改修はできない。 仕事をしているとハラスメントが多い。会社の中でなくて、外部の方からのハラスメントの講習会をやってほしい。 アンケートの時期だけでなく、いじめを受けたらすぐに相談できるようにしてもらいたい。SNSの窓口を作るとか、学校に相談してもダメだったというようなことがないようにしてもらえればよい。SNS いじめの被害は想像を絶する。時間を取って指導してもらいたい。 先生の指導が熱心だということに非常に感心している。改善点としては、髪型やメイクの基準はあるのかということがうかがえ、なかなか難しいところもあると思うが、改善していただければと思う。校則を生徒会と話し合って決める学校もある。 (回答) ツープロックに関して生徒会の生徒たちにも話して案の検討をお願いしている。時代が変わってきているので、教員側がアップデートして変えられるところは変えていかなければならないと考えている。地域の方から見ると高生はしっかりしているとみられるように進めていきたい。 部活動の収支報告についてわからないことがあるのか。 (回答) 部費を徴収している部活動については収支報告を作成するようにしているが、報告まで徹底したい。
----	--